

EPSON

LCD Projector

取扱説明書

EMP-S1H

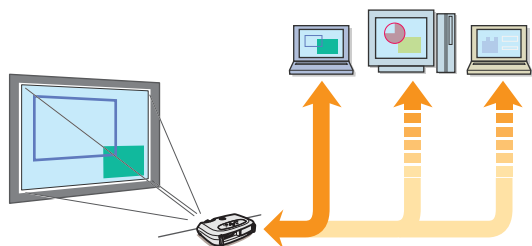


	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および本機の故障や損傷の原因になる恐れがある内容を示しています。
	関連する重要な情報、または知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	用語解説で説明しています。👉 「用語解説」 P. 59

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクターの他に同梱品や別売品も含む場合があります。

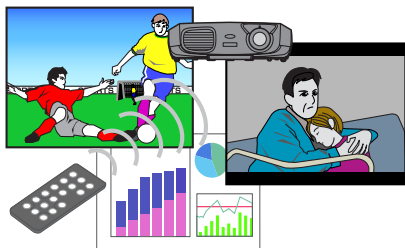
■ 自動セットアップ機能（コンピュータ接続時）

接続されたコンピュータの信号を判断し、最適な投写状態になるように自動調整します。👉「自動セットアップ（コンピュータ接続時）」P. 26



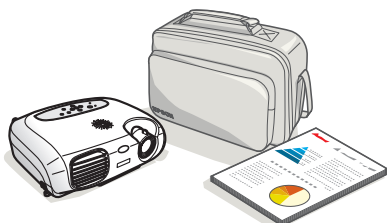
■ カラーモード機能

シーンに応じた画質を選択できます。👉「映り具合を選ぶ（カラーモード選択）」P. 26



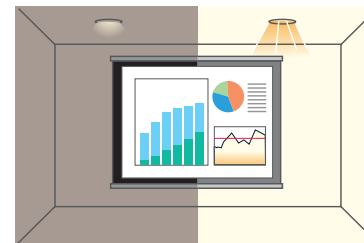
■ 小型で軽量

コンパクトなボディで持ち運びも楽々。
奥行き 26.5 × 幅 37 × 高さ 10.6 cm
重さ 約 3kg



■ 美しく鮮明な映像

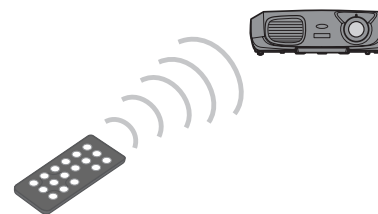
高解像度高輝度による見やすい画面を実現。明るい場所でも鮮やかな映像を映し出せます。



■ 操作简单

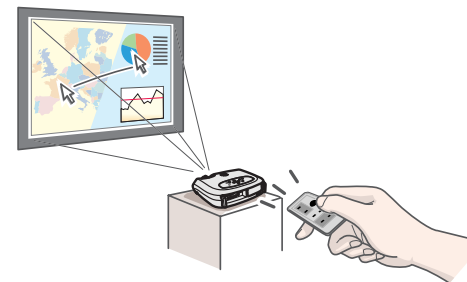
付属のリモコンを使っていろいろな操作を簡単に行なうことができます。

- ・ 投写映像を停止する
- ・ 大切な部分をズームアップする



■ プレゼンテーション機能の充実

付属のプレゼンテーションリモコンで、投写中のコンピュータ画面のポインタ操作を行なうことができます。（ワイヤレスマウス）



表示の意味	1
特長	2
目次	3

準備

各部の名称と働き	4
前面 / 上面	4
本体操作パネル	5
背面	6
底面	7
リモコン	8
本機の設定	10
設置方法	10
投写距離とスクリーンサイズ	10
その他の設置のしかた	11
コンピュータとの接続	12
接続できるコンピュータ	12
コンピュータの映像を映す	13
コンピュータの音声を出す	14
外部モニタとの接続	14
プレゼンテーションリモコン	15
ビデオ機器との接続	18
ビデオの映像を映す	18
ビデオの音声を出す	19

基本操作編

電源の入れ方	20
電源の切り方	21
画面の調整	22
投写サイズを調整する	22
ピントを合わせる（フォーカス調整）	22
投写角度の調整	23
台形補正	24
入力ソースの選択	25

応用編

投写を効果的にする機能	26
コンピュータ映像の調整	26
映り具合を選ぶ（カラーモード選択）	26
ミュート機能	27
静止機能	27
ワイドサイズの映像を映す（アスペクト比の切り替え）	28
E ズーム機能	28
環境設定メニュー	29
環境設定メニューの操作	30
機能一覧	33

困ったときに

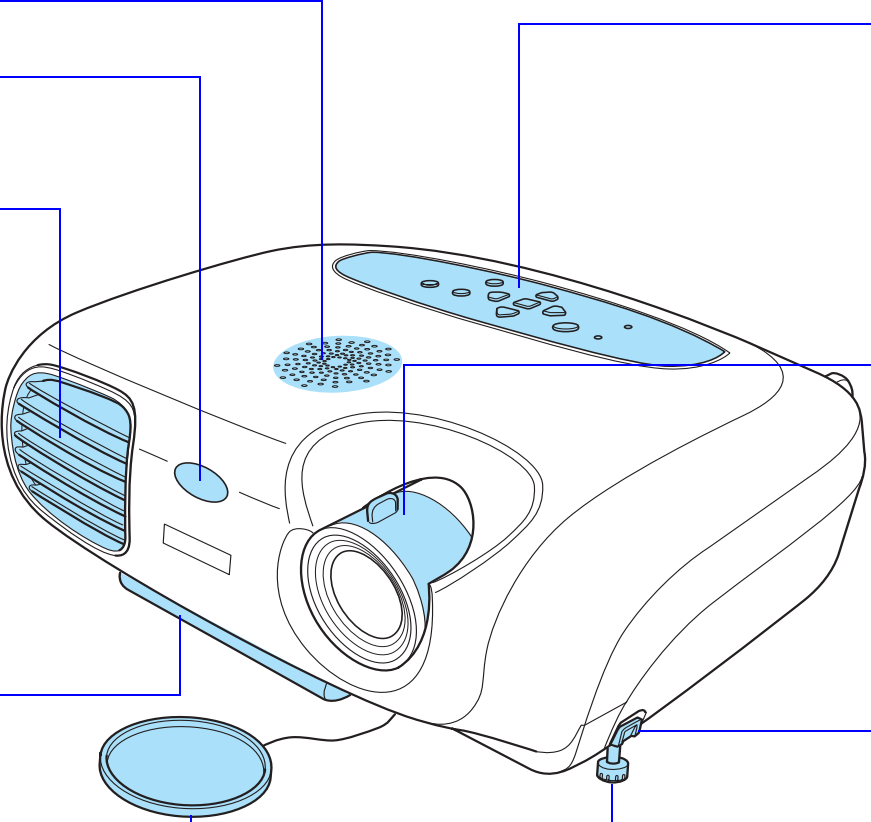
故障かなと思ったら	40
電源インジケータ	40
（異常 / 警告）インジケータ	41
インジケータを見てもわからないとき	42

付録

お手入れの方法	50
各部の掃除	50
消耗品の交換	52
オプション品一覧	57
用語解説	59
ケーブル配線	61
対応解像度一覧	62
仕様一覧	63
外形寸法図	64
索引	65
ご注意	68
お問い合わせ先	69

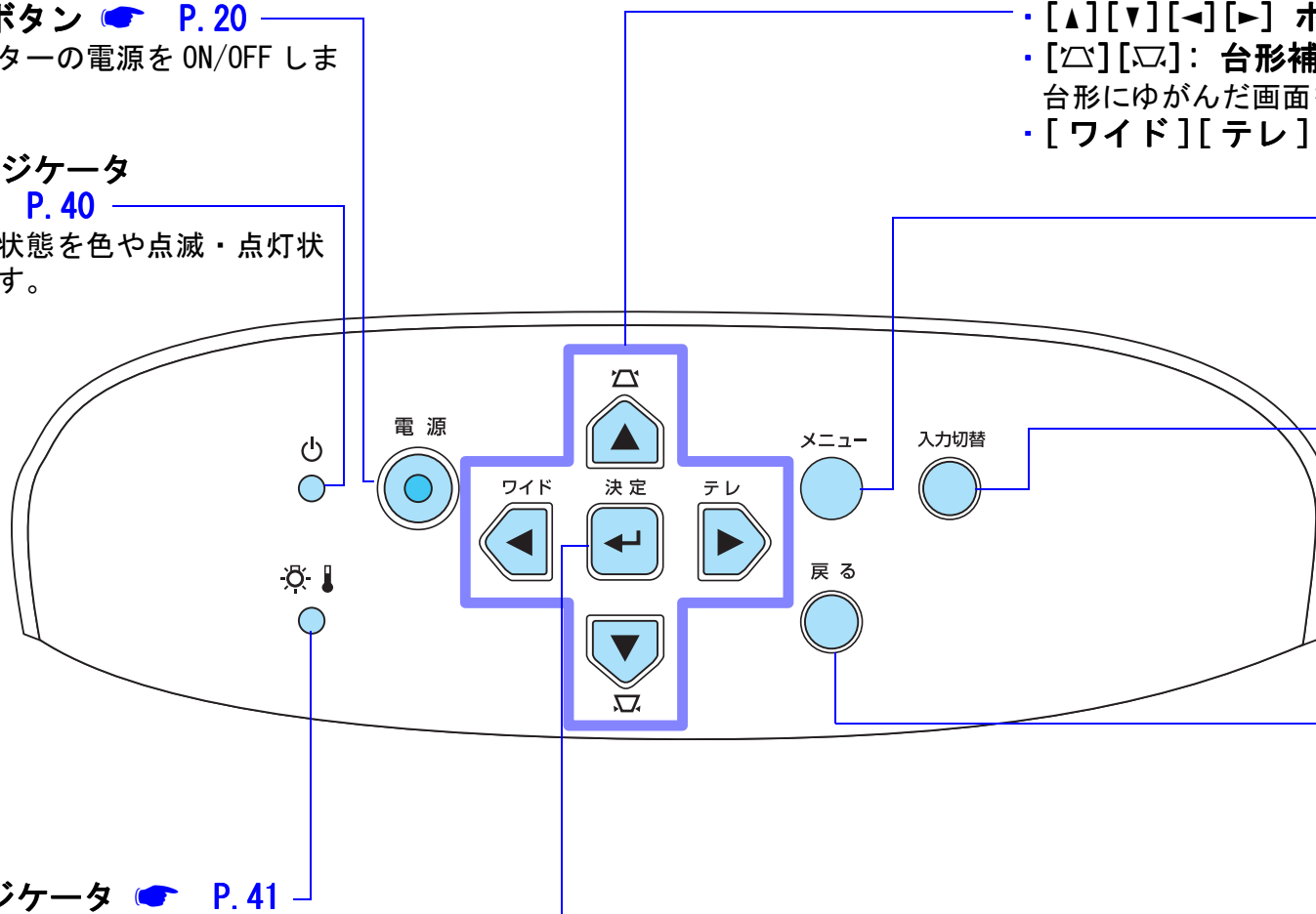
各部の名称と働き

前面 / 上面

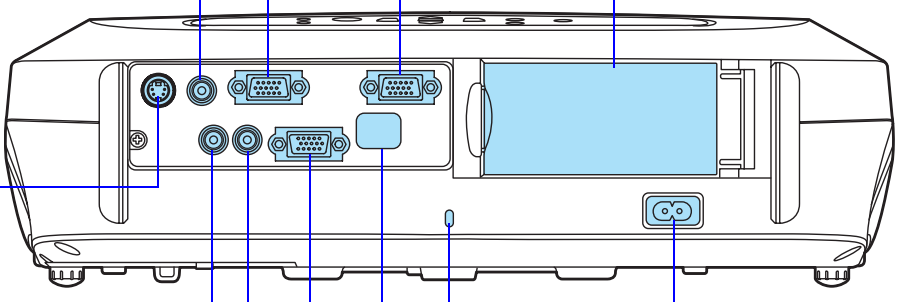
- 
- ・スピーカー
 - ・リモコン受光部  P. 9
リモコン信号を受信します。
 - ・排気口
 - ・本体操作パネル  P. 5
 - ・フォーカスリング  P. 22
投写映像の焦点を合わせます。
 - ・ハンドル
本機を運ぶときは引き出して使用します。
 - ・レンズカバー
プロジェクターを使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。
 - ・フットボタン（左）  P. 23
右側面にも同様にフットボタンがあります。
フロントフットを伸縮させるときに、両側のフットボタンを押します。
 - ・フロントフット（左）  P. 23
右側面にも同様にフロントフットがあります。
投写角度を調整するときには伸ばします。

本体操作パネル

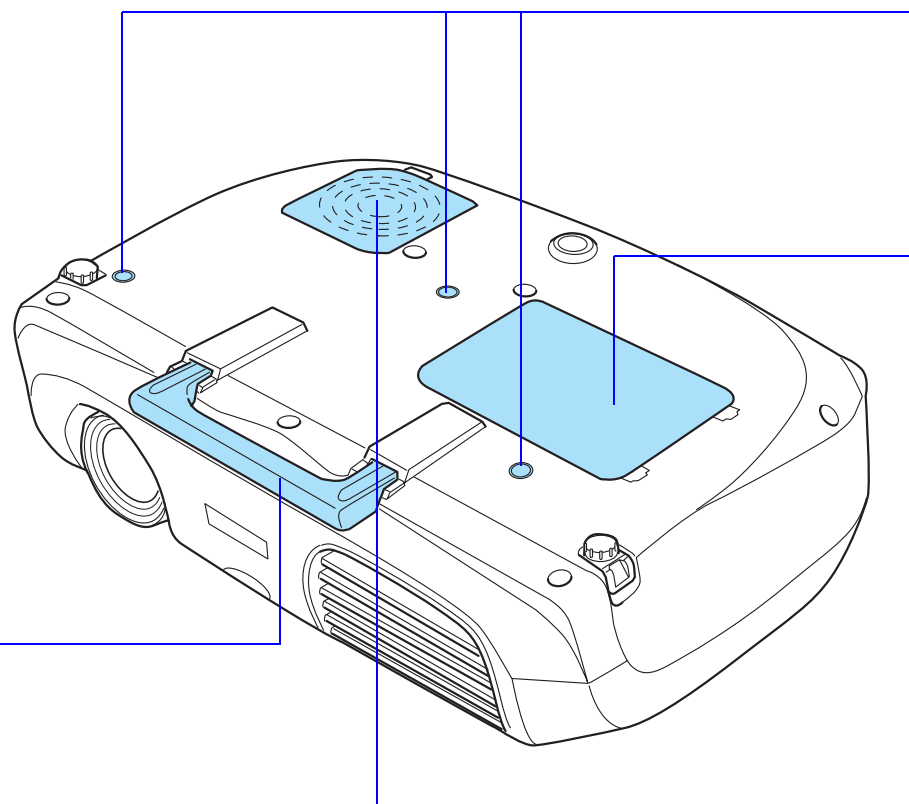
- ・ **[電源] ボタン**  **P. 20**
プロジェクターの電源を ON/OFF します。
- ・ **電源 インジケータ**  **P. 20, P. 40**
本機の動作状態を色や点滅・点灯状態で示します。
- ・ **[▲][▼][◀][▶] ボタン**  **P. 30**
- ・ **[△][▽]: 台形補正ボタン**  **P. 24**
台形にゆがんだ画面を修正します。
- ・ **[ワイド][テレ]: ズームボタン**  **P. 22**
- ・ **[メニュー] ボタン**  **P. 29**
環境設定メニューを表示 / 終了します。
- ・ **[入力切替] ボタン**  **P. 25**
押すたびにコンピュータ / コンポーネントビデオ端子、S-ビデオ端子、ビデオ端子の順で入力ソースを切り替えます。
- ・ **[戻る] ボタン**  **P. 32**
実行中の機能を終了します。
環境設定メニュー表示時には 1 つ上の階層に戻ります。
- ・ **[↵] ボタン**  **P. 31**
環境設定メニューの項目を決定したり、1 つ下の階層に進みます。
- ・ **警告インジケータ**  **P. 41**
本機に発生した異常を、色や点滅・点灯状態で示します。



背面

- 
- ・ **コンピュータ / コンポーネントビデオ 端子**  **P. 13, P. 18**
コンピュータのアナログ信号や、ビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
- ・ **ビデオ端子**  **P. 18**
ビデオ機器のコンジットビデオ信号を入力します。
A/V ケーブルで接続します。
- ・ **S-ビデオ端子**  **P. 18**
ビデオ機器の S-ビデオ 信号を入力します。
S-ビデオケーブルで接続します。
- ・ **音声入力端子**  **P. 14, P. 19**
音声信号を入力します。A/V ケーブルまたは RCA ケーブルで接続します。
コンピュータとビデオの双方で使うときはケーブルを抜き差しするか、音声セレクタをご使用ください。
- ・ **RS-232C 端子**  **P. 61**
RS-232C ケーブルでコンピュータと接続します。プロジェクター制御用の端子で通常は使用しません。
- ・ **モニター出力端子**  **P. 14**
投写しているコンピュータのアナログ映像信号を外部モニターに出力します。ビデオ機器の信号には対応しません。
- ・ **リモコンホルダ**  **P. 9**
同梱のリモコンを使用しないときは、ここに収納します。
- ・ **電源端子**  **P. 20**
電源ケーブルを接続します。
- ・ **盗難防止ロック**  **P. 60**
- ・ **リモコン受光部**  **P. 9**
リモコン信号を受信します。

底面



- ・ **ハンドル**
本機を運ぶときは引き出して
使用します。

- ・ **天吊固定部（3箇所）**
天井から吊り下げて使うとき、オ
プションの天吊金具を取り付けま
す。

- ・ **ランプカバー**  **P. 53**
ランプの交換時に、このカバーを
開けて中のランプを交換します。

- ・ **エアーフィルタ（吸気口）**
 **P. 51, P. 56**
吸気時に本機内部にホコリや
ゴミが入るのを防ぎます。ラ
ンプ交換時にはエアーフィル
タも交換します。

・リモコン発光部

リモコンの信号を出力します。

・[Eズーム] ボタン P. 28

⊕：投写サイズは変えずに、映像を拡大します。

⊖：[⊕] ボタンで拡大した結果を縮小します。

・[入力切替] ボタン P. 25

[コンピュータ]：コンピュータ / コンポーネントビデオ端子からの映像に切り替えます。

[S-ビデオ / ビデオ]：S-ビデオ端子またはビデオ端子からの映像に切り替えます。

・[画面サイズ] ボタン P. 28

ビデオ投写時に [アスペクト比](#) を 4:3 と 16:9 に切り替えます。

・[▲][▼][◀][▶] ボタン P. 30

メニュー項目や設定値の選択を行います。

・[◀][▶]：音量ボタン

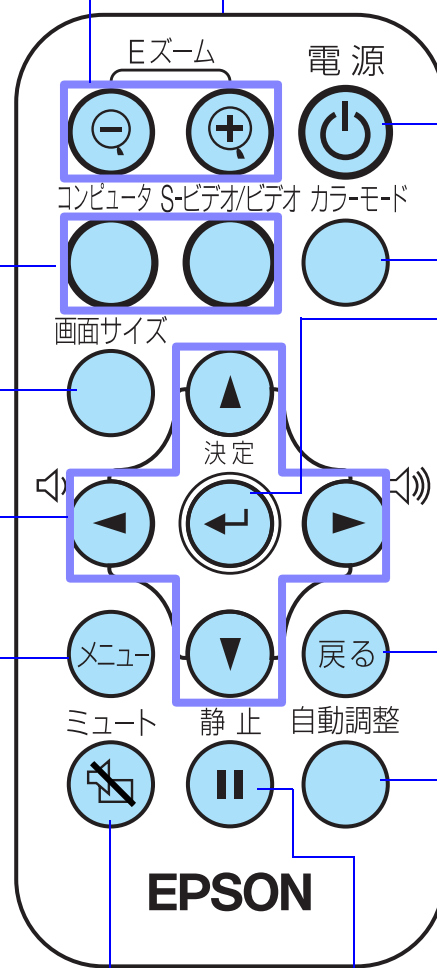
音量を調整します。

・[メニュー] ボタン P. 29

環境設定メニューを表示 / 終了します。

・[ミュート] ボタン P. 27

映像と音声を一時的に消します。



・[電源] ボタン P. 20

プロジェクターの電源を ON/OFF します。

・[カラーモード] ボタン P. 26

カラーモードを切り替えます。押すたびに、ダイナミック、プレゼンテーション、シアター、リビング、[sRGB](#) の順で切り替わります。

・[◀] ボタン P. 31

環境設定メニューの項目を決定したり、1 つ下の階層に進みます。

・[戻る] ボタン P. 32

実行中の機能を終了します。
環境設定メニュー表示時には 1 つ上の階層に戻ります。

・[自動調整] ボタン P. 26

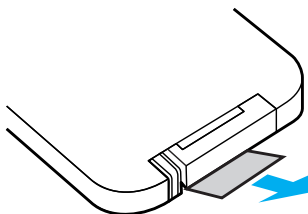
自動セットアップがオフに設定されているときに、コンピュータ映像を自動調整し最適化します。

・[静止] ボタン P. 27

映像を一時停止します。

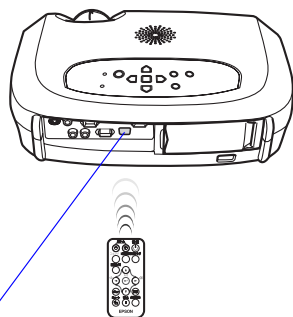
■ お使いになる前に

絶縁テープを引き抜いてください。

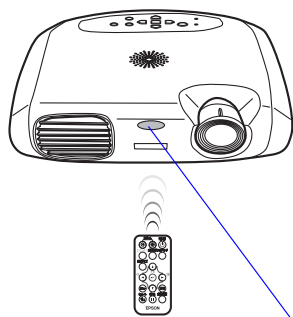


■ リモコンの使い方

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。



リモコン受光部



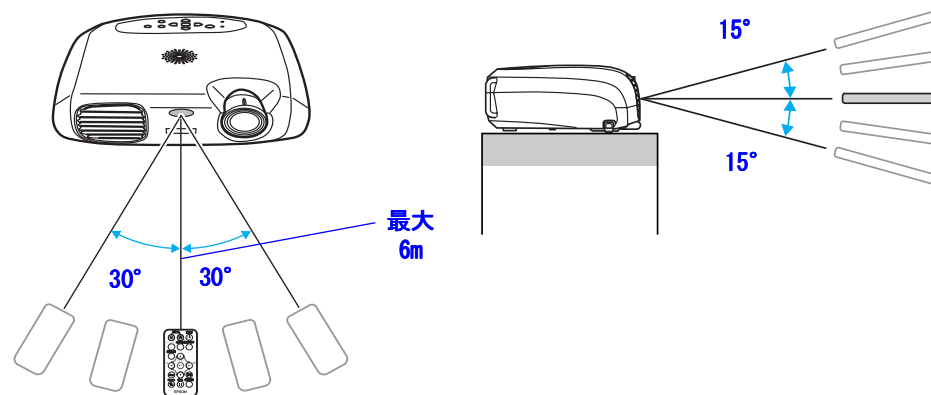
リモコン受光部

■ 操作範囲

距離 : 最大約 6m
(条件によっては短くなる場合があります。)

操作可能範囲 : 左右 30° 上下 15°

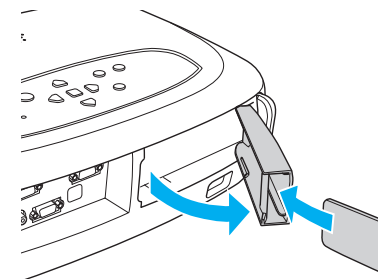
*背面のリモコン受光部も同じ条件で使用できます。



■ 収納

リモコンを使わないときは本体のリモコンホルダに収納してください。

- 1 リモコンホルダを開きます。
- 2 リモコンをリモコンホルダに入れます。
- 3 カチッと音がするまでリモコンホルダを閉めます。

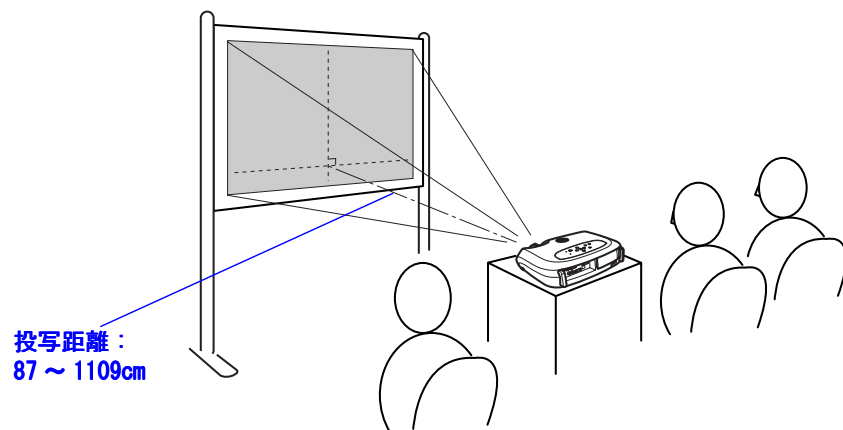


 リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光が当たると、リモコンの操作ができないことがあります。

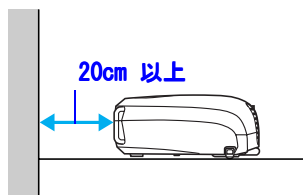
❗ 設置の前に別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

設置方法

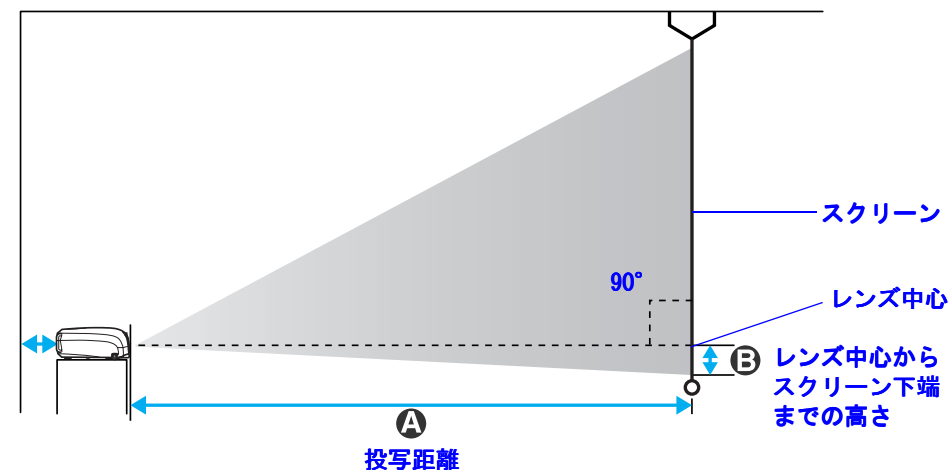
プロジェクターはスクリーンと直角になるように設置してください。



👉 壁際に設置するときは、本機を壁から 20cm 以上離してください。



投写距離とスクリーンサイズ



4:3 スクリーンサイズ (cm)	A (cm)	B (cm) *
30 型 (61 × 46)	87 ~ 108	4
40 型 (81 × 61)	117 ~ 145	6
60 型 (120 × 90)	177 ~ 219	9
80 型 (160 × 120)	237 ~ 293	12
100 型 (200 × 150)	297 ~ 367	14
200 型 (410 × 300)	596 ~ 738	29
300 型 (610 × 460)	895 ~ 1109	43

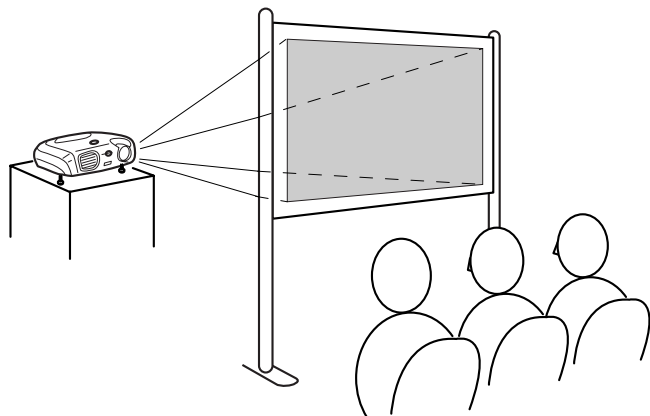
*ズームで縮小すると B の寸法は小さくなります。(最小は 0 になります)

上記の値は計算値のため、多少異なることがあります。設置の目安にしてください。

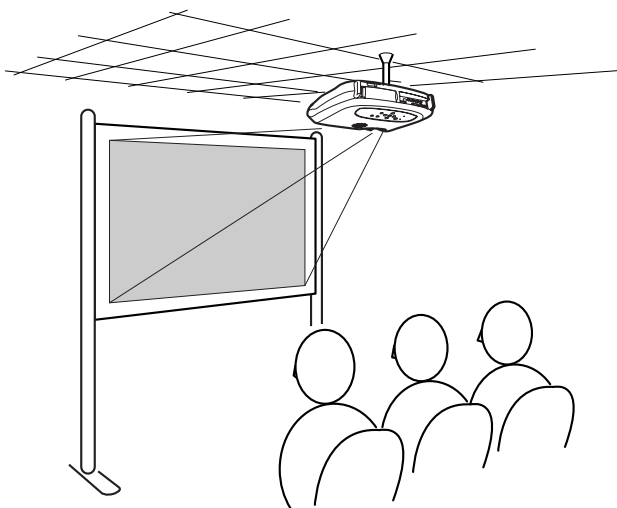
その他の設置のしかた

■ 裏側から

(半透過性のスクリーンへ)

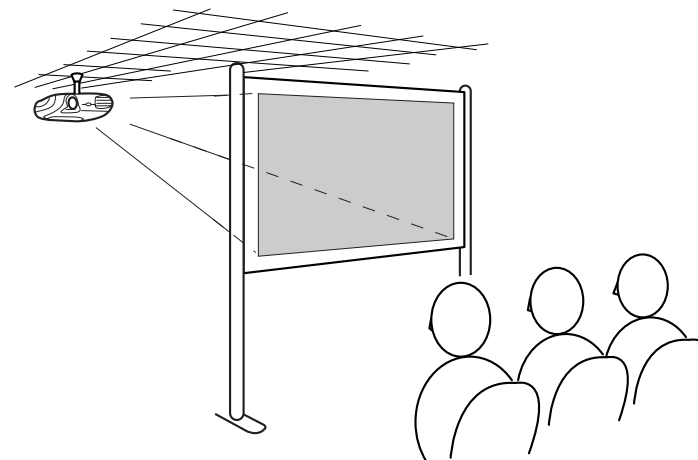


■ 天吊り



■ 天吊りー裏側から

(半透過性のスクリーンへ)



* 天吊りで使用する場合はオプションの天吊金具が必要です。また、特別な技術が必要ですので、販売店にご相談ください。

👉 「オプション品一覧」 P. 57

👉 天吊りやスクリーンの裏側から投写するときは、環境設定メニュー「設定」→「画面調整」→「設置モード」で設定します。👉 「設定メニュー」 P. 36

- ⚠ 接続の際は次の点を確認してください。
- ・本機とコンピュータの電源を切ってください。
電源を入れたまま接続すると、故障の原因になります。
 - ・コネクタの形状と向きを確認してください。
形状が異なるコネクタを無理に端子に押し込むと故障や破損の原因になります。

接続できるコンピュータ

条件1：映像出力端子があることー RGB 端子、モニタ端子、CRT 端子など

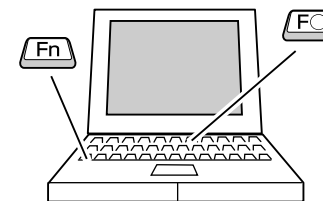
ノートタイプや液晶一体型のコンピュータは接続できないことがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をお読みください。

条件2：コンピュータの解像度と周波数が本機に対応していること

👉 「対応解像度一覧」 P. 62

- 👉
- ・コンピュータの端子形状によっては、市販のアダプタ類が必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をお読みください。
 - ・コンピュータと本機が離れて設置されており、同梱のコンピュータケーブルでは届かないときは、オプションのコンピュータケーブルをお使いください。👉 「オプション品一覧」 P. 57

■ ノートパソコンを接続する



👉 ノートタイプや液晶一体型は映像を外部出力する設定を行ってください。

設定の例

[Fn] キーを押したまま各ファンクションキーを押してください。

エプソンダイレクト製	[Fn]+[F8]
NEC 製	[Fn]+[F3]
Panasonic 製	
東芝製	[Fn]+[F5]
IBM 製	[Fn]+[F7]
SONY 製	
富士通製	[Fn]+[F10]
Macintosh	再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定にしてください。

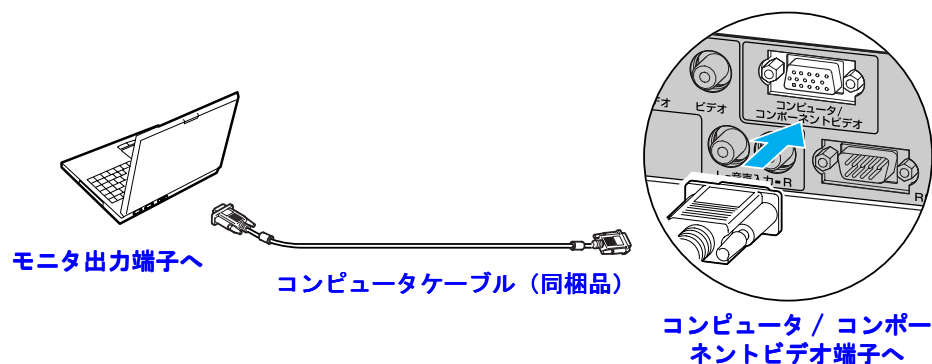
詳しくはコンピュータの取扱説明書をお読みください。

- ・コンピュータの映像が投写されるまで、少し時間がかかります。
- ・Windows によっては、新しいハードウェアが見つかりましたなどのメッセージが表示されます。画面のメッセージに従って設定を行ってください。問題が起きた場合は、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- ・コンピュータによっては、外部出力に設定すると、映像がモニタに写らなくなることがあります。

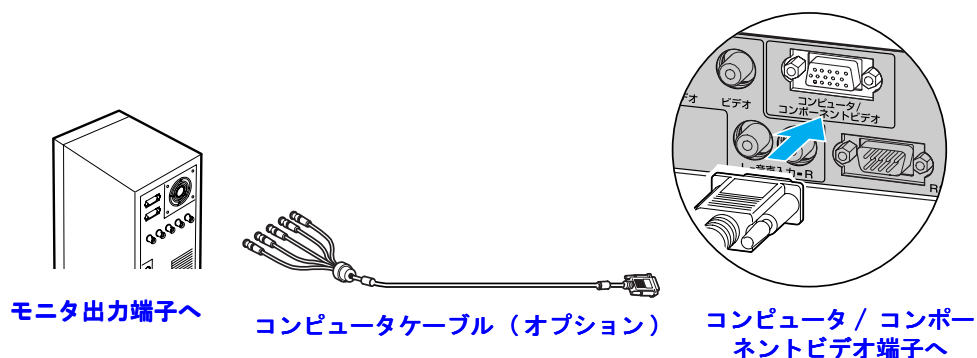
コンピュータの映像を映す

モニター端子がミニ D-Sub 15Pin、[5BNC](#) 端子、13w3 端子それぞれの場合で接続ケーブルが異なります。

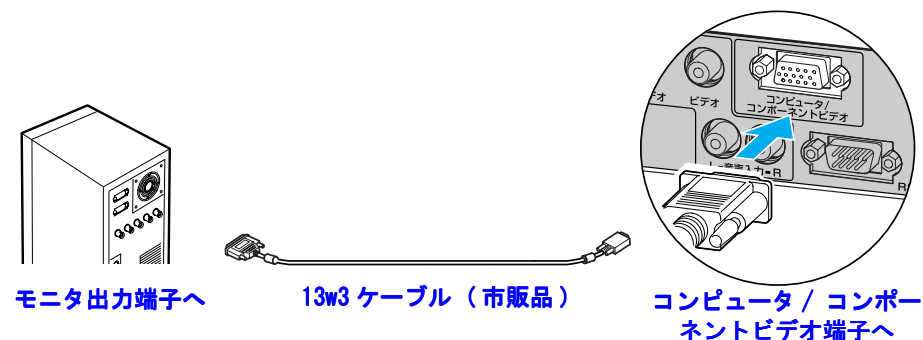
■ ミニ D-Sub 15 pin の場合



■ 5BNC 端子の場合



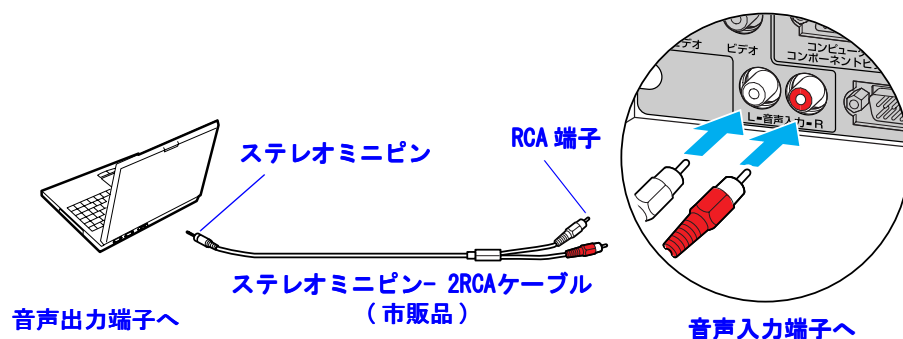
■ 13w3 端子の場合



- 環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンピュータ」を選択してください。👉「映像メニュー」
P. 33
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。ノイズや誤作動の原因になります。
- ワークステーションによっては専用ケーブルが必要です。お使いのワークステーションのメーカーにご確認ください。

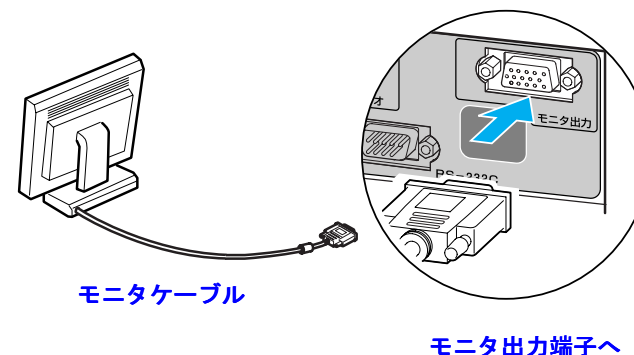
コンピュータの音声を出す

本機のスピーカでコンピュータの音声を出力できます。



外部モニタとの接続

本機の入力映像をコンピュータのモニタで表示できます。

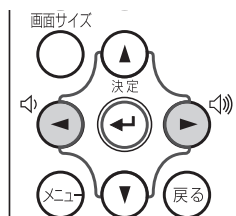


- ・コンピュータとビデオの双方で使うときはケーブルを抜き差しするか、音声セレクトアをご使用ください。
- ・内部に抵抗のないオーディオケーブルをお使いください。

- ・ビデオ映像は外部モニタに出力することはできません。
- ・台形補正などの設定ゲージや環境設定メニューは外部モニタに出力されません。

■ 音量調整

リモコンの [◀] または [▶] ボタンを押します。



環境設定メニューで音量を調整することもできます。

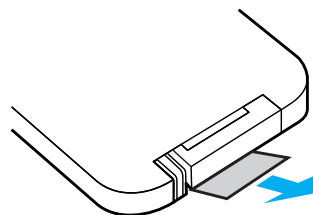
[メニュー] ボタン → 「設定」 → 「音量」 ➡ 「設定メニュー」

プレゼンテーションリモコン

同梱のプレゼンテーションリモコンを使用して、ワイヤレスマウスのようにコンピュータのマウスポインタを操作できます。



お使いになる前に絶縁テープを引き抜いてください。



■ 対応コンピュータ

Windows : Windows98 / 2000 / Me / XP
(プリンストールモデルのみに対応します。アップグレードしたものには対応しません)

Macintosh : Mac OS 9.1 以降のバージョン



- ・プレゼンテーションリモコンレシーバーは、USB 標準搭載モデルにのみ対応しています。
- ・マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

■ ドライバのインストール (Windows)

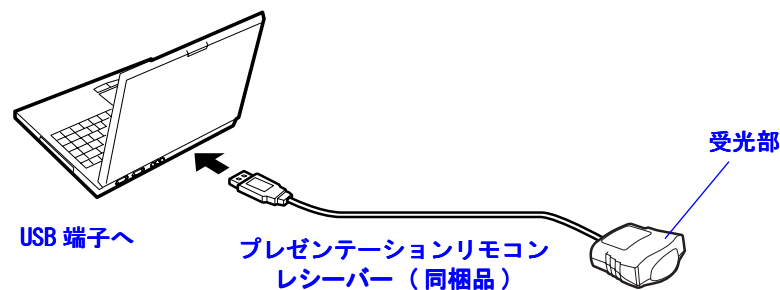
ドライバのインストールを行います。

画面の内容は Windows のバージョンによって異なります。

ここでは Windows 98 の画面で説明します。

*Macintosh の場合はドライバのインストールは必要ありません。

- 1 コンピュータ起動後にコンピュータの USB 端子に同梱のプレゼンテーションリモコンレシーバーを接続してください。



新しいハードウェアの追加ウィザード画面が表示されます。通常はデフォルト画面のまま「次へ」をクリックして作業を進めてください。

- 2 「次へ」をクリックします。



③ デフォルトの画面のまま「次へ」をクリックします。



⑤ メッセージを確認し、「次へ」をクリックします。



④ 「検索場所の指定」にチェックマークをつけ、「C:\WINDOWS」を指定して「次へ」をクリックします。



⑥ 「完了」をクリックします。



以上でドライバのインストールが完了しました。



- ・ご使用の OS のインストール状況やお客様の設定により検索する場所が上記と異なる場合があります。
- ・検索する場所を変更するときは、「参照」をクリックしてください。

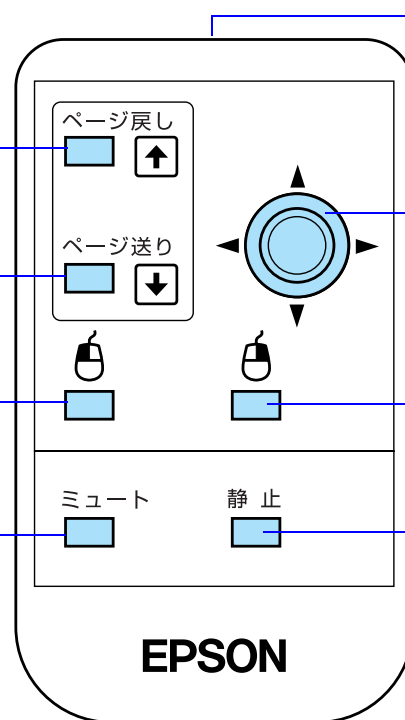


画面の指示に従って 2 回インストールを行ってください。

■ 各部の名称とはたらき

プレゼンテーションリモコンをプレゼンテーションリモコンレシーバーに向けて操作します。
ミュート機能と静止機能はプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。

- ・ **〔ページ戻し〕 / 〔ページ送り〕 ボタン**
Power Point ファイルのページ送り / 戻しができます。
- ・ **〔左クリック〕 ボタン**
マウスの左クリックとして機能します。
- ・ **ダブルクリック :**
〔左クリック〕 ボタンを 2 回押します。
- ・ **ドラッグ アンド ドロップ :**
〔左クリック〕 ボタンを押したままジョイスティックでカーソルを移動します。
〔左クリック〕 ボタンを離すとドロップします。
- ・ **〔ミュート〕 ボタン**
映像と音声を一時的に消します。



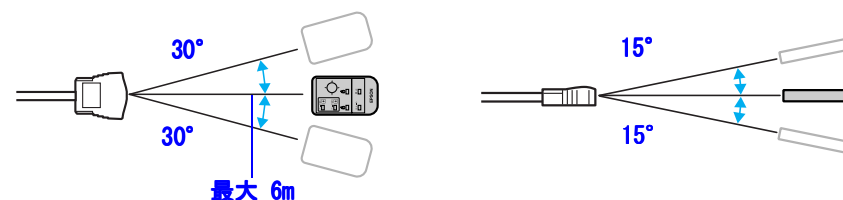
- ・ **リモコン発光部**
リモコン信号を出力します。
- ・ **ジョイスティック**
ジョイスティックを押した方向にマウスポインタを動かすことができます： 上、下、左、右、斜め方向
- ・ **〔右クリック〕 ボタン**
マウスの右クリックとして機能します。
- ・ **〔静止〕 ボタン**
映像を一時停止します。



コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンの操作も逆になります。

■ 操作範囲

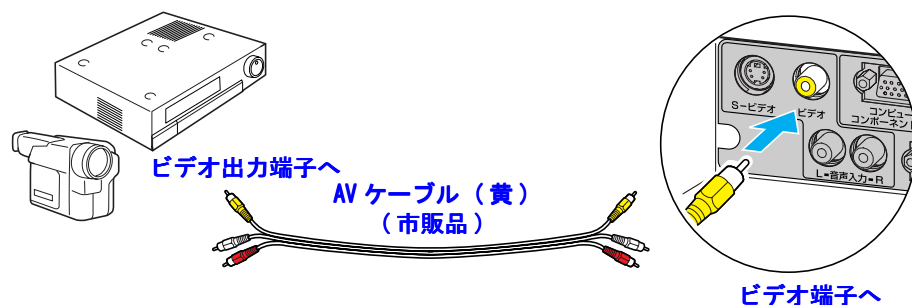
距離 : 最大約 6m
(条件によっては短くなる場合があります。)
操作可能範囲 : 左右 30° 上下 15°



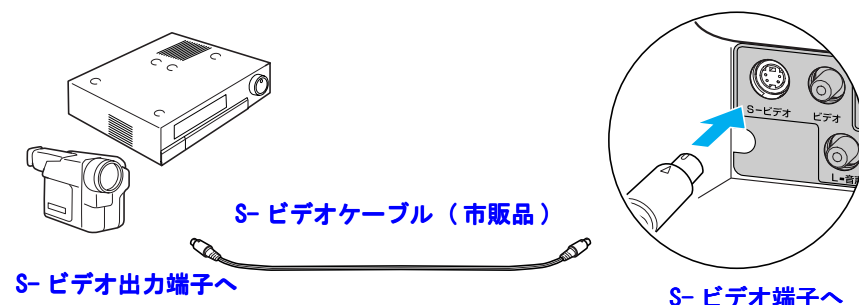
- ⚠ 接続の際は次の点を確認してください。
- ・本機とビデオ機器の電源を切ってください。
電源を入れたまま接続すると故障の原因になります。
 - ・コネクタの形状と向きを確認してください。
形状が異なるコネクタを無理に端子に押し込むと故障や破損の原因になります。

ビデオの映像を映す

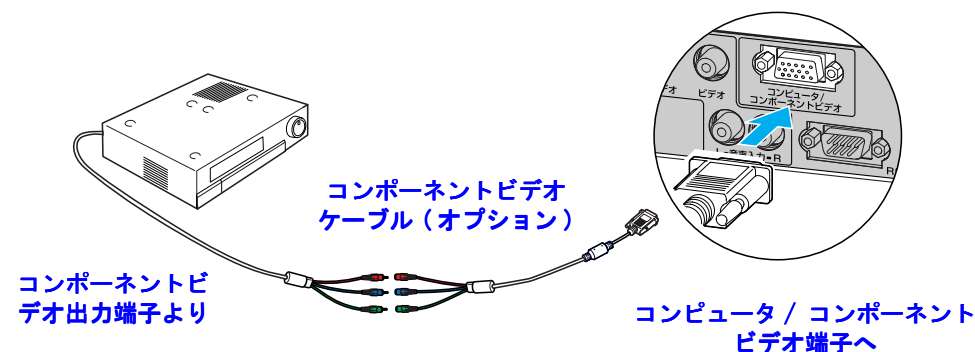
■ コンポジットビデオの場合



■ S-ビデオの場合

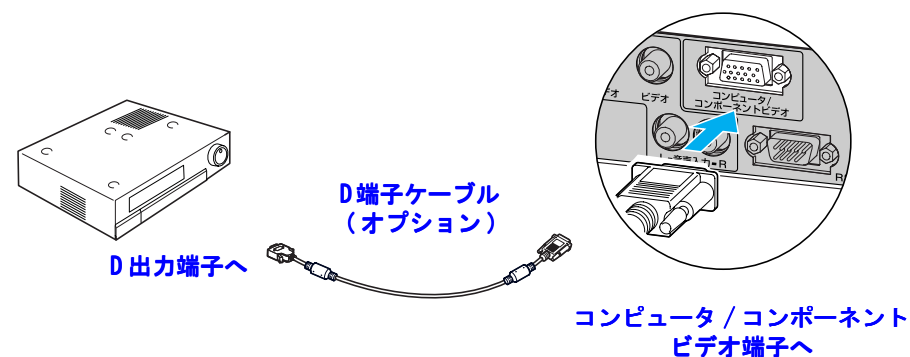


■ コンポーネントビデオの場合



👉 投写開始後は、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンポーネントビデオ (YCbCr▶)」または「コンポーネントビデオ (YPbPr▶)」のいずれかでビデオの映像に合う方に設定してください。👉 「映像メニュー」 P. 33

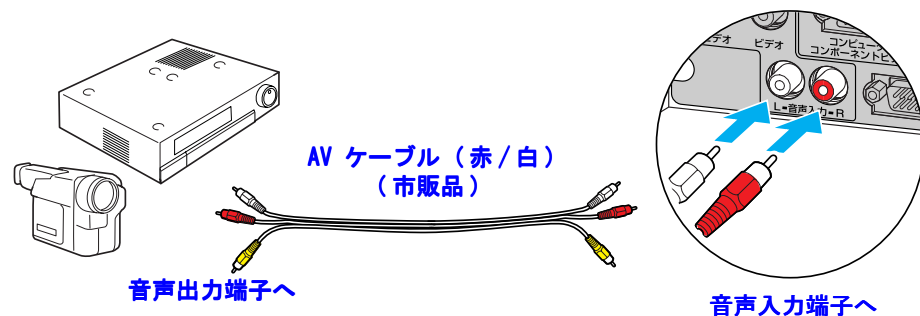
■ BS デジタルチューナの場合



👉 投写開始後は、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンポーネントビデオ (YPbPr▶)」に設定します。👉 「映像メニュー」 P. 33

・D4 規格までの BS デジタルチューナに対応しています。

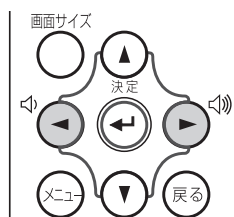
ビデオの音声を出す



- ・コンピュータとビデオの双方で使うときはケーブルを抜き差しするか、音声セレクトをご使用ください。
- ・内部に抵抗のないオーディオケーブルをお使いください。

■ 音量調整

リモコンの [◀] または [▶] ボタンを押します。



環境設定メニューで音量を調整することもできます。
[メニュー] ボタン → 「設定」 → 「音量」 ➡ 「設定メニュー」

P. 36

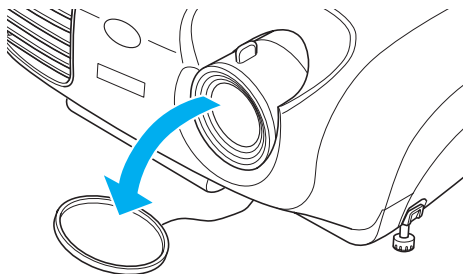
電源の入れ方

! 接続する機器の電源とプロジェクターの電源を切ってください。

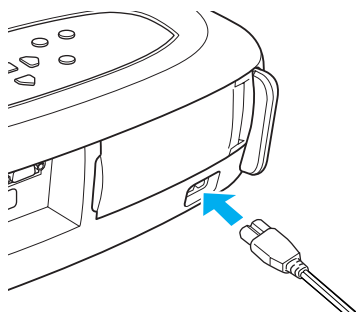
1 コンピュータまたはビデオを接続します。

☞ 「コンピュータとの接続」 P. 12 , 「ビデオ機器との接続」 P. 18

2 レンズカバーを外します。

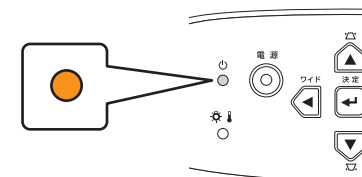


3 本機に電源ケーブルを取り付けます。



4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源インジケータがオレンジ色に点灯します。



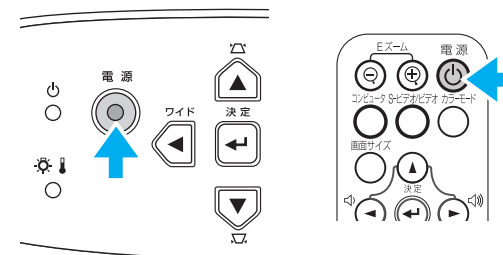
5 接続したコンピュータ / ビデオの電源を入れます。

ビデオは再生ボタンも押してください。

☞ ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときは、映像を外部出力する設定を行ってください。
☞ 「ノートパソコンを接続する」 P. 12

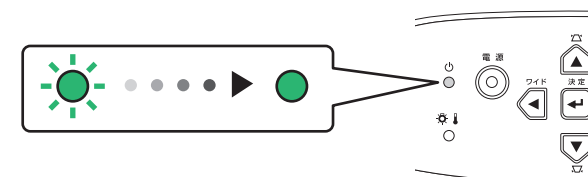
6 「電源」ボタンを押します。

「ピッ」と音が鳴り、電源インジケータが緑色に点滅しはじめます。



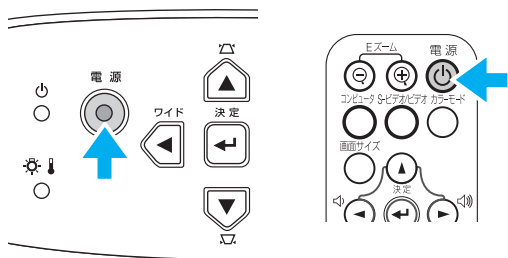
7 電源インジケータが緑色に点灯するまで待ちます。

約 40 秒かかります。

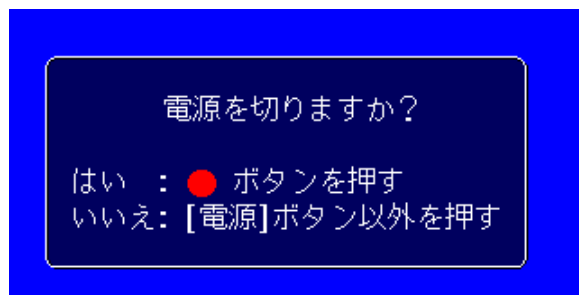


① 接続しているコンピュータ/ビデオの電源をオフにします。

② [電源] ボタンを押します。



確認画面が表示されます。



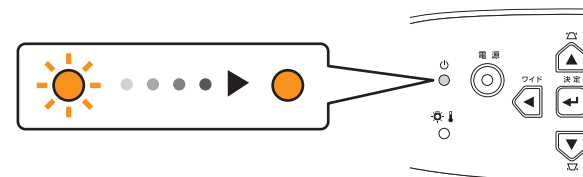
👉 [電源] ボタン以外を押す、または7秒間何も操作をしないと確認画面が消えます。

③ 再度 [電源] ボタンを押す。

電源インジケータが点滅しはじめます。

④ ピッピッと鳴り、電源インジケータがオレンジ色に点灯するまで待ちます。

[クールダウン](#) ▶ をこの間に行います。約 20 秒かかります。

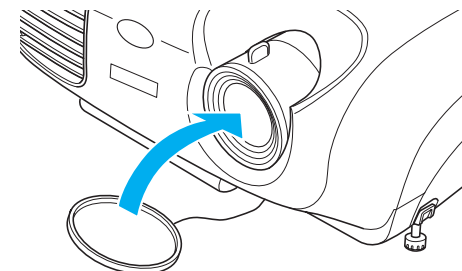


⑤ 電源プラグをコンセントから抜きます。

❗ 電源インジケータが点滅中はプラグを抜かないでください。故障の原因になります。

⑥ 本機から電源ケーブルを抜きます。

⑦ レンズカバーを取り付けます。



投写サイズを調整する

投写サイズは、スクリーンから本機の設定位置までの距離で合わせます。👉「[投写距離とスクリーンサイズ](#)」P. 10

- 1 本体操作パネルの「ワイド」または「テレ」ボタンで投写サイズを調整します。

「ワイド」：拡大

「テレ」：縮小



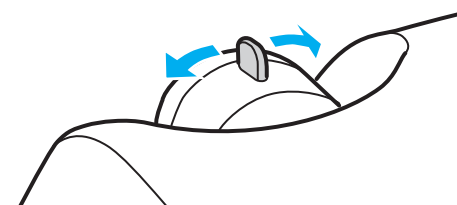
さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。



- ・初期値はワイドに設定されています。
- ・一部分を拡大する E ズーム機能もあります。👉「[E ズーム機能](#)」P. 28

ピントを合わせる（フォーカス調整）

- 1 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

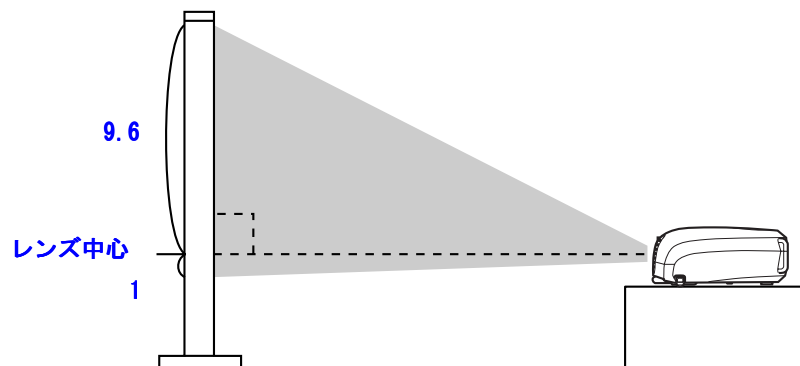


- ・レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。👉「[レンズの掃除](#)」P. 50
- ・投写距離が 87 ～ 1109 cm に入っていないとピントが合いません。設置距離を確認してください。

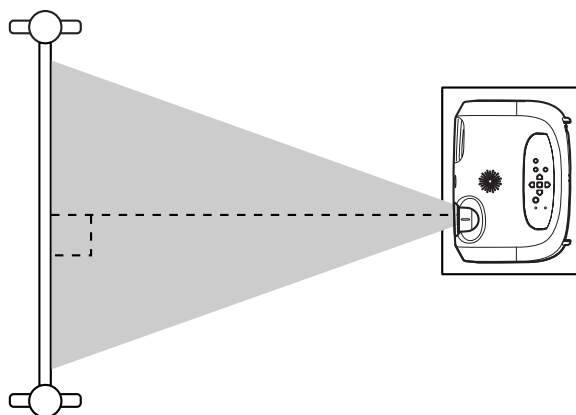
投写角度の調整

プロジェクターはスクリーンと直角になるように設置してください。

横から見たとき

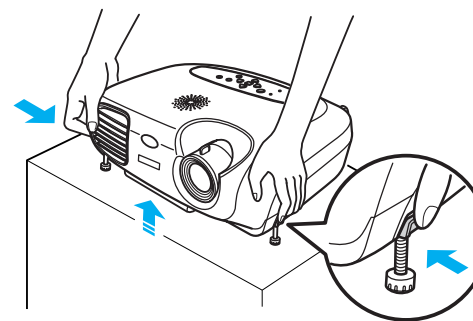


上から見たとき

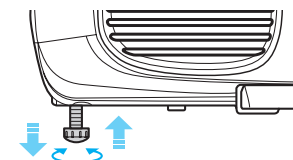


スクリーンに対して直角に設置できないときは、上下方向に対しては本機を傾けて設置できます。(最大 10°)

- 1 両側のフットボタンを押しながら本機の前面を持ち上げます。
フロントフットが伸びます。



- ・左右のフロントフットの接地部を回すと高さの微調整ができます。



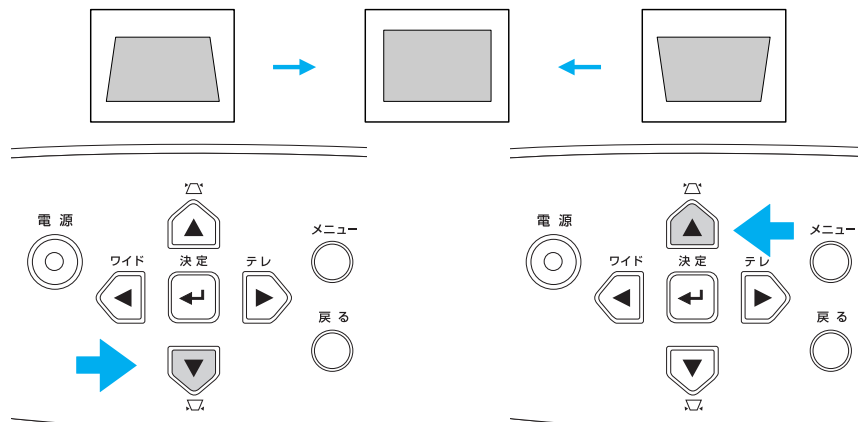
- ・フロントフットを収納するには、両側のフットボタンを押したまま本機をゆっくり降ろします。

台形補正

本機がスクリーンに直角に向いてないとき、画面は台形に歪みます。この歪みを補正します。

 上下方向のみこの補正を行うことができます。水平方向の歪みは補正できません。

1  または  ボタンを押します。

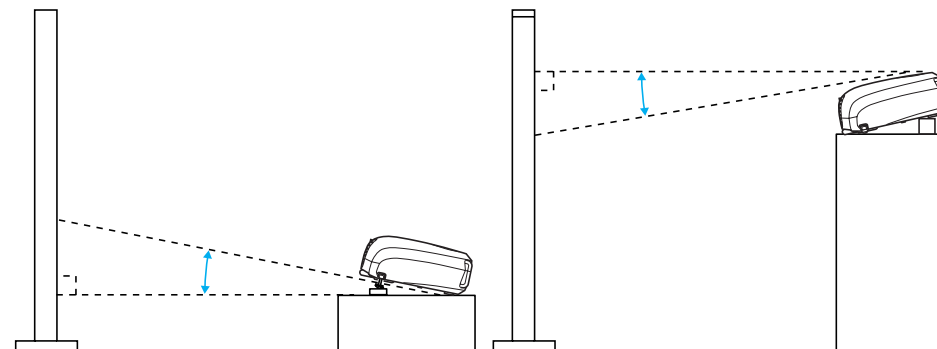


-  台形補正を行うと画面の大きさが変わります。
- 画面に表示される映像のムラが生じたときはシャープネスを下げてください。（[メニュー] ボタン → 「映像」 → 「画質調整」 → 「シャープネス」）  「映像メニュー」 P. 33

上下に約 15° までの傾きであれば、ゆがみのない映像に補正します。

上方向に約 15°

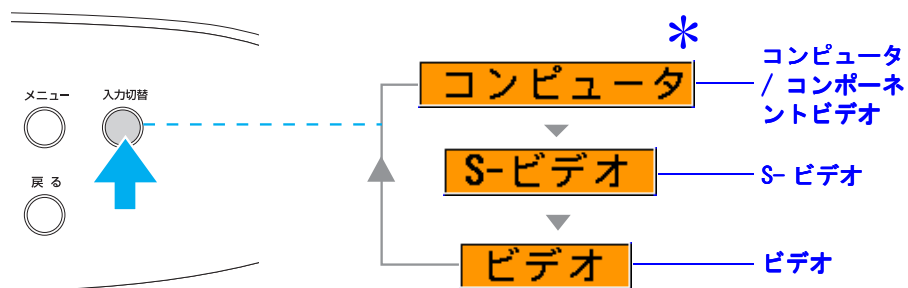
下方向に約 15°



本機に接続している機器が1台だけの場合は、自動的にその機器の映像が選択されます。

本機に接続している機器が複数の場合は、[入力切替]で投写したい映像ソースを選択します。

プロジェクター



[入力切替] ボタンを繰り返し押して、入力ソースを上図のように切り替えます。

*DVD や BS デジタルチューナーを接続している場合は、「映像」メニューの「入力信号」で以下を選択します。

DVD の場合 : コンポーネントビデオ (YCbCr)

BS デジタルチューナーの場合 : コンポーネントビデオ (YPbPr)

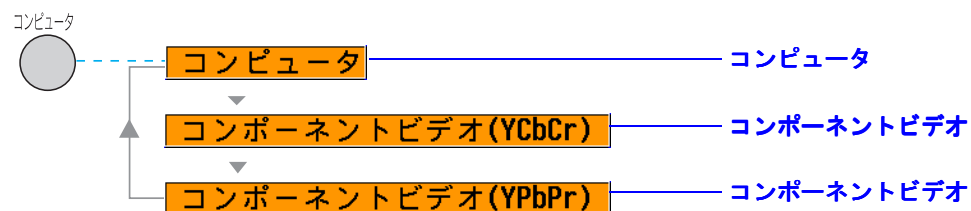
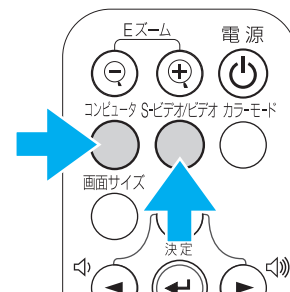
👉 「映像メニュー」 P. 33

コンピュータ

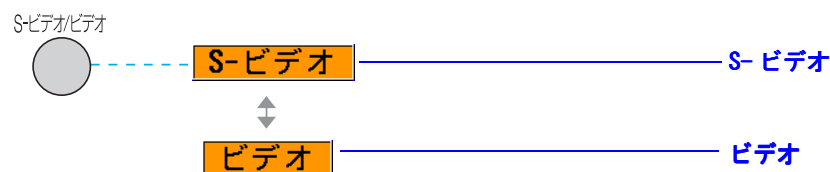
コンポーネントビデオ (YCbCr)

コンポーネントビデオ (YPbPr)

リモコン



[コンピュータ] ボタンを繰り返し押して、上図のようにコンピュータ / コンポーネントビデオソースを切り替えます。



[S-ビデオ / ビデオ] ボタンを繰り返し押して、上図のようにS-ビデオとビデオを切り替えます。



音声入力を切り替えるときは、音声入力ケーブルをつなぎ変えてください。

投写を効果的にする機能

コンピュータ映像の調整

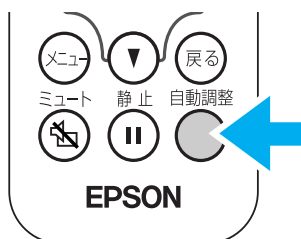
■ 自動セットアップ（コンピュータ接続時）

コンピュータの信号を判断し、最適な映像になるように次の項目を自動調整します。

- ・ [トラッキング](#) ▶
- ・ 表示位置
- ・ [同期](#) ▶

👉 環境設定メニューの「映像」→「自動調整」で自動セットアップをオフに設定できます。（初期値はオン）
👉 「映像メニュー」 P. 33

自動セットアップをオフに設定していても「自動調整」ボタンを押すと、自動調整を行うことができます。



👉 Eズーム、静止、環境設定メニューを表示中に「自動調整」を押すと表示機能を解除してから調整を行います。

自動セットアップで調整しきれないとき、手動でトラッキングと同期を調整します。（「メニュー」ボタン→「映像」→「画質調整」→「トラッキング」、「同期」）👉 「映像メニュー」 P. 33

映り具合を選ぶ（カラーモード選択）

映像の特徴に合わせた5種類の画質の設定があらかじめ記録されています。

投写映像に合わせて選択してください。

・ダイナミック

明るさを重視した、鮮やかでメリハリを付けた映像にします。

・プレゼンテーション

明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。

・シアター

自然な色合いで映画に最適です。

・リビング

明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。

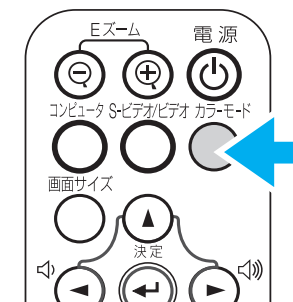
・sRGB▶

色の標準規格 sRGB に準拠します。接続している機器に sRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方を sRGB に設定して使用します。

リモコンの「カラーモード」ボタンを押すたびにカラーモードが切り替ります。
ダイナミック → プレゼンテーション → シアター → リビング → sRGB

初期値

- ・コンピュータ映像入力時：プレゼンテーション
- ・その他の入力時：ダイナミック

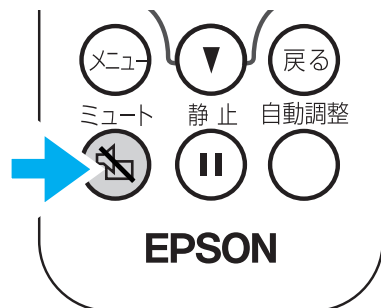


👉 環境設定メニューの「映像」→「カラーモード」で設定することもできます。
👉 「映像メニュー」 P. 33

ミュート機能

映像と音声を一時的に消します。

- 1 リモコンの「ミュート」ボタンを押します。
映像と音声が消えます。



投写を再開するには、もう一度「ミュート」ボタンを押すか、「戻る」ボタンを押します。

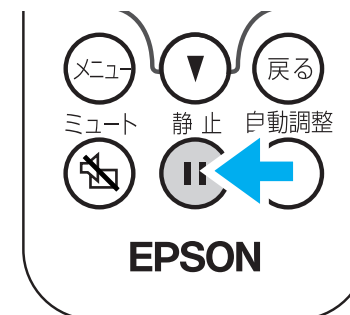


- ・ミュート中の画面の色は黒または青に設定できます。初期設定は青です。（「メニュー」ボタン → 「設定」 → 「表示設定」 → 「背景色」）👉「設定メニュー」P. 36
- ・動画を再生している場合、ミュート中でも映像と音声は進んでいるので、ミュートしたときの場面から再開することはできません。

静止機能

投写中の映像を一時的に静止状態にします。

- 1 リモコンの「静止」ボタンを押します。
映像が静止します。



解除するには、もう一度「静止」を押すか、「戻る」ボタンを押します。

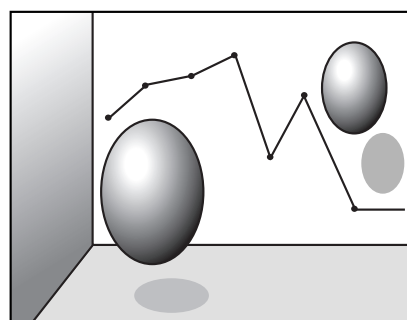
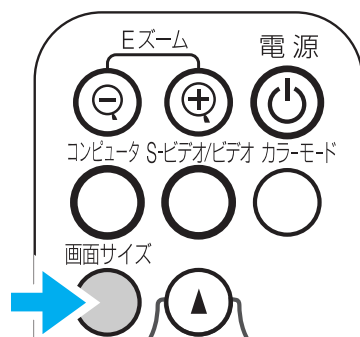


- ・動画を静止している場合、静止中も入力元の映像は進んでいるので静止した場面から再開することはできません。
- ・「静止」ボタンを押すと環境設定メニューの表示がなくなります。

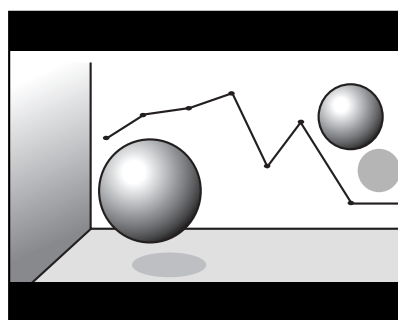
ワイドサイズの映像を映す（アスペクト比の切り替え）

コンポーネントビデオ（YCbCr、YPbPr）、ビデオ（S-ビデオ、ビデオ）投写時は、アスペクト比▶4:3 と 16:9 を切り替えることができます。DVD 映像やデジタルビデオで録画した映像を 16:9 のワイド画面で投写できます。

- 1 リモコンの「画面サイズ」ボタンを押して画面サイズを切り替えます。



スクイーズモード▶の映像を
4:3 で投写した場合



スクイーズモードの映像を
16:9 で投写した場合

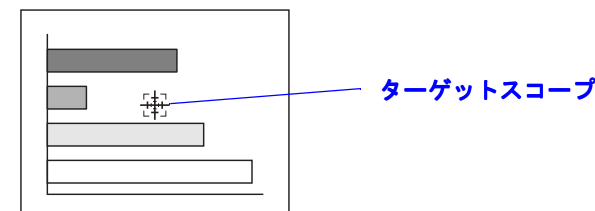
E ズーム機能

部分的に拡大 / 縮小します。

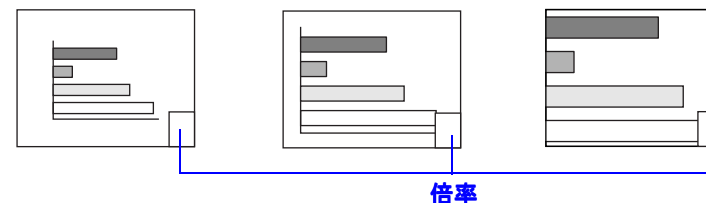
- 1 リモコンの「E ズーム +」ボタンを押す。
画面にターゲットスコープが表示されます。



- 2 [▲][▼][◀][▶] ボタンを押して、拡大 / 縮小させたい部分の中心にターゲットスコープを移動する。



- 3 [E ズーム +]、[E ズーム -] を押して拡大または縮小します。



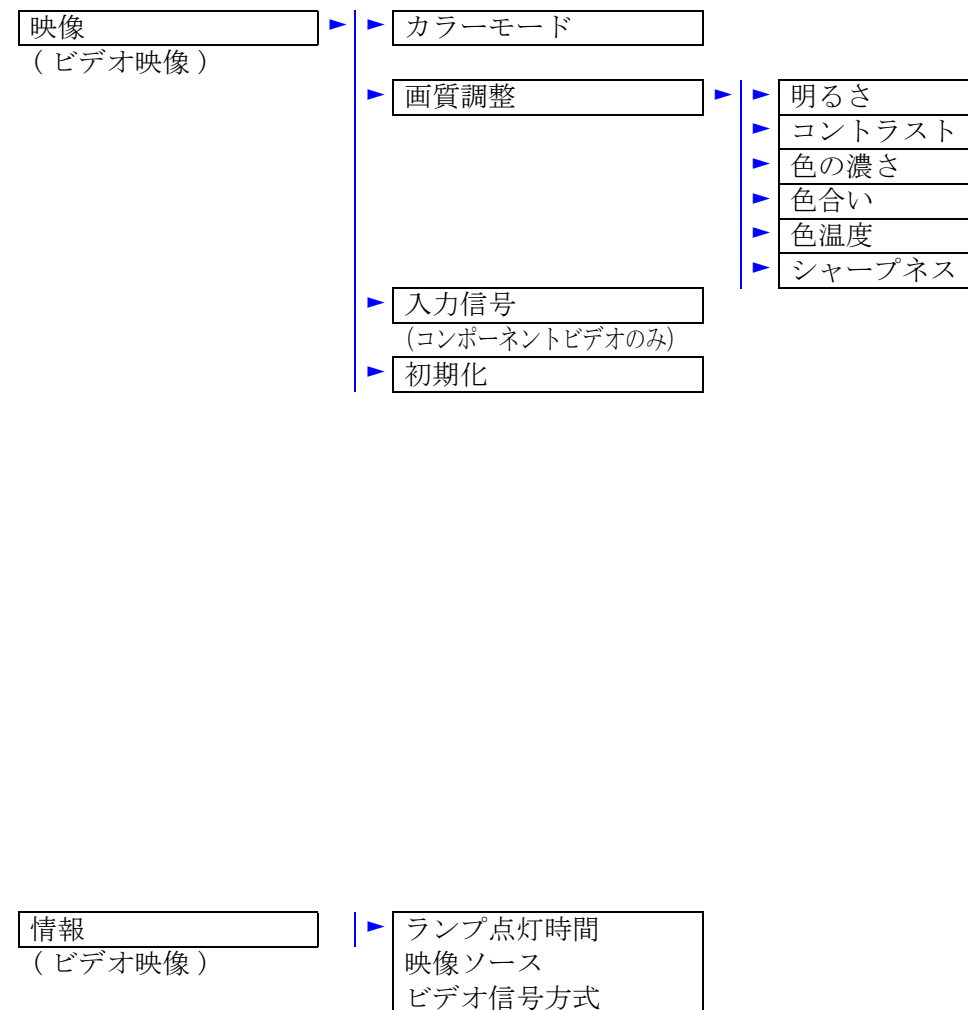
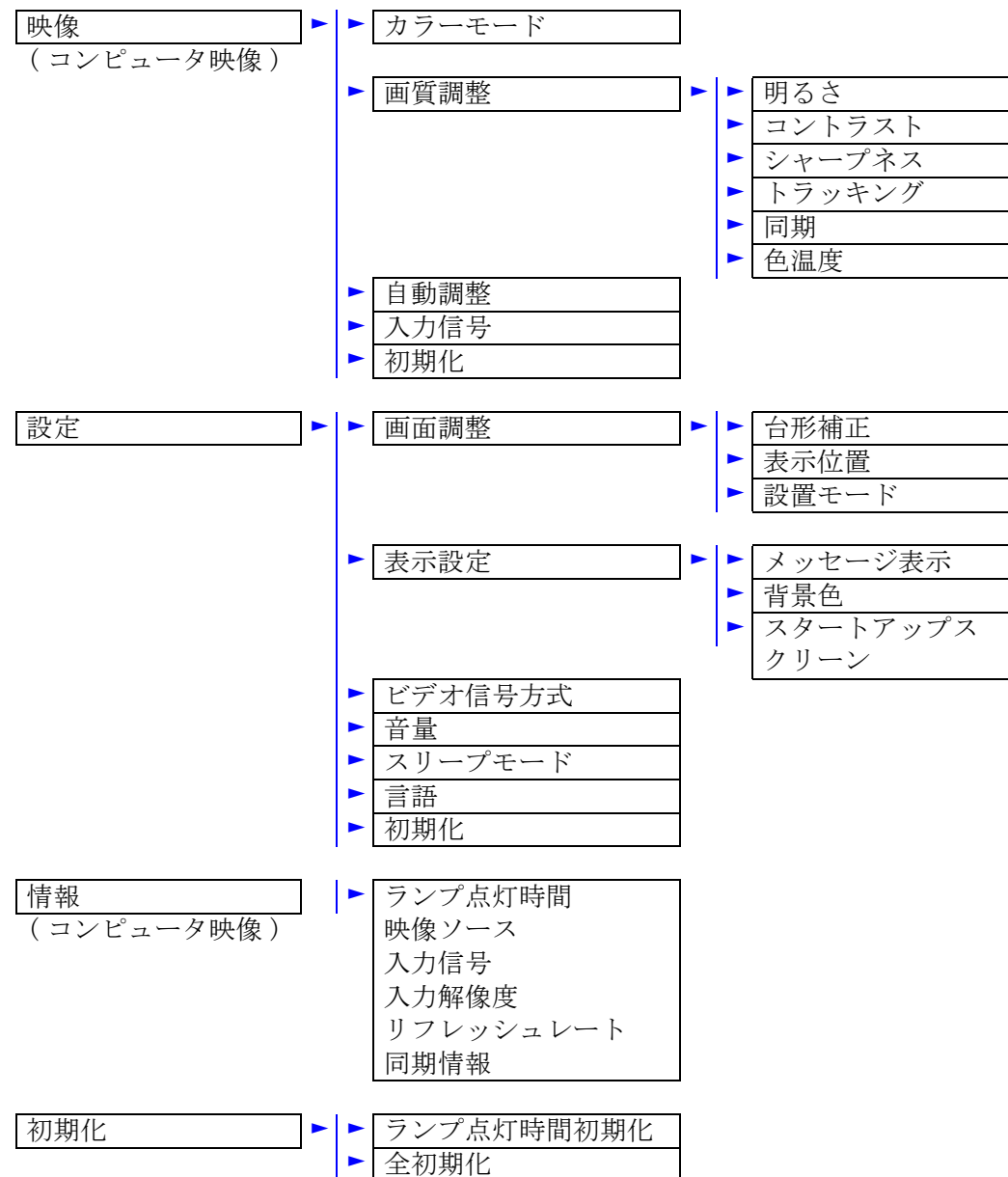
画面を拡大表示、または拡大した結果を縮小します。

[E ズーム +]: 拡大して表示します。

[E ズーム -]: 拡大した結果を縮小します

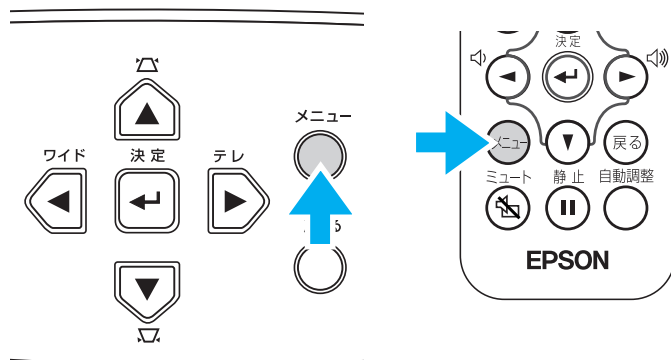
[▲][▼][◀][▶] ボタンで画面のスクロールができます。E ズーム機能を解除するには「戻る」ボタンを押します。

環境設定メニューでは投写映像の画質や入力信号、音声の調整や設定ができます。



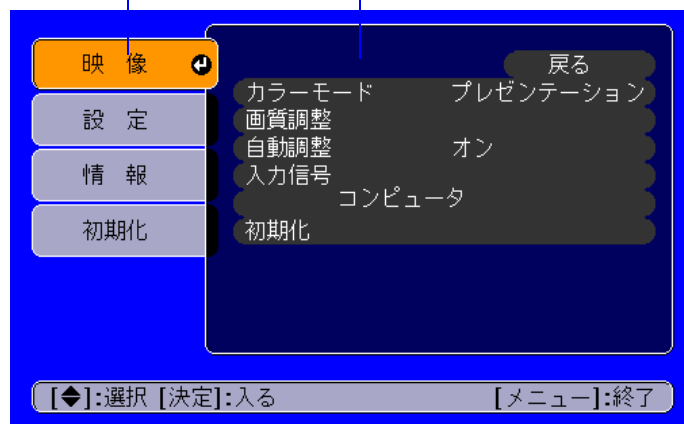
環境設定メニューの操作

① [メニュー] ボタンを押します。

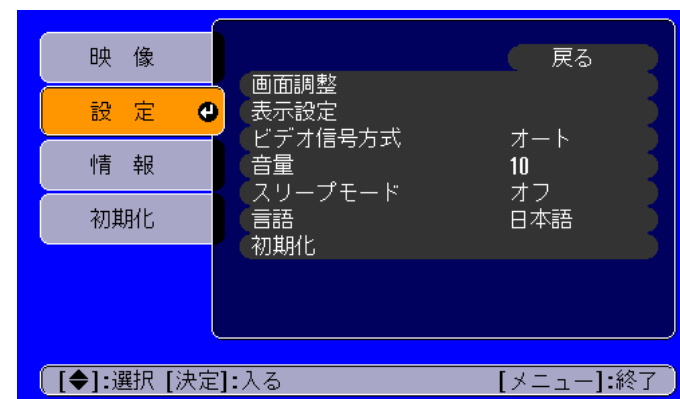
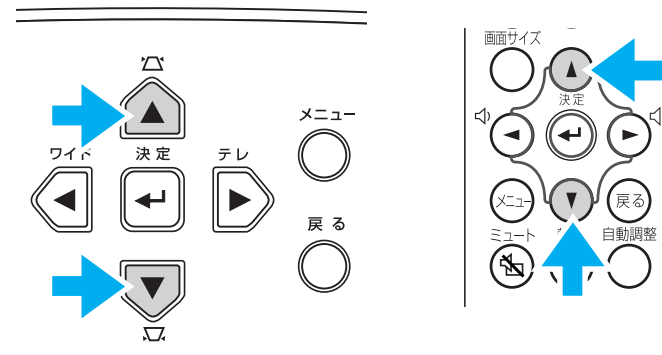


環境設定メニューが表示されます。

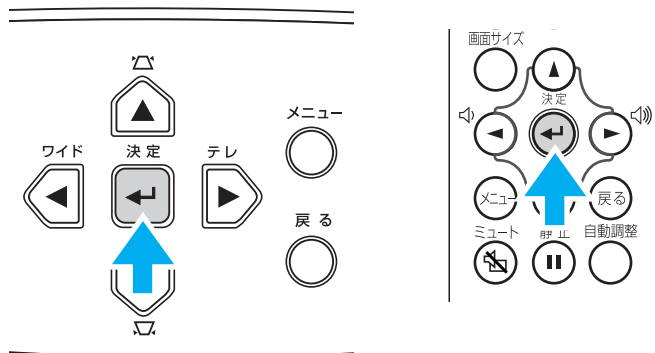
トップメニュー サブメニュー1



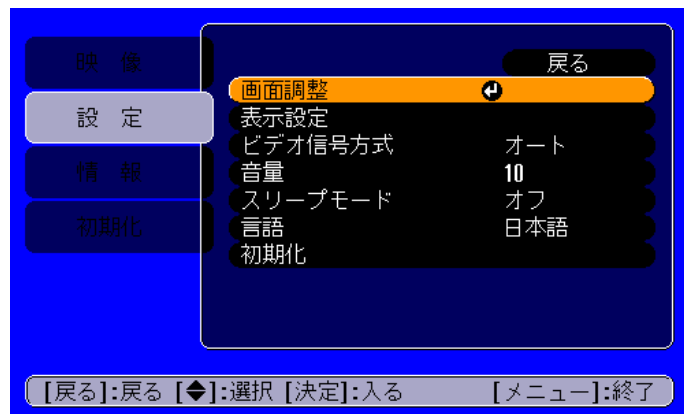
② [▲]または[▼] ボタンを押してトップメニュー項目を選択します。



3 [←] ボタンを押します。



サブメニュー 1 が表示されます。



4 [▲] または [▼] ボタンを押してサブメニュー 1 項目を選択し、[←] ボタンを押します。

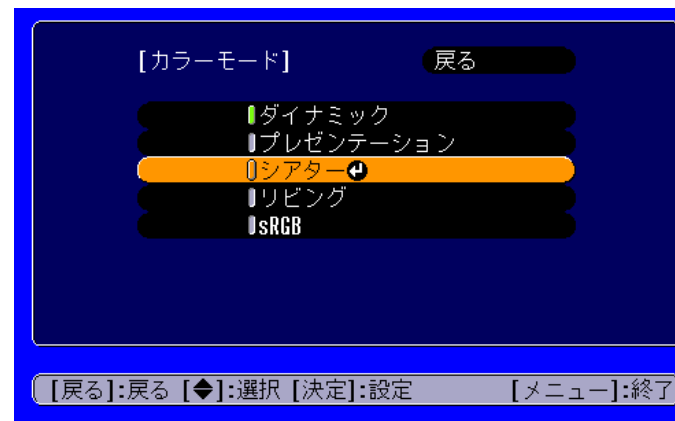
5 サブメニュー 2 についても同様に [▲] または [▼] を押して、[←] ボタンを押します。

6 設定の変更のしかたは以下の 4 通りあります。

(a) [←] または [→] ボタンを押して値を変更する。



(b) [▲] または [▼] ボタンを押してメニュー項目を選択します。
[←] ボタンを押します。



■ (緑色) : 現在設定されている項目

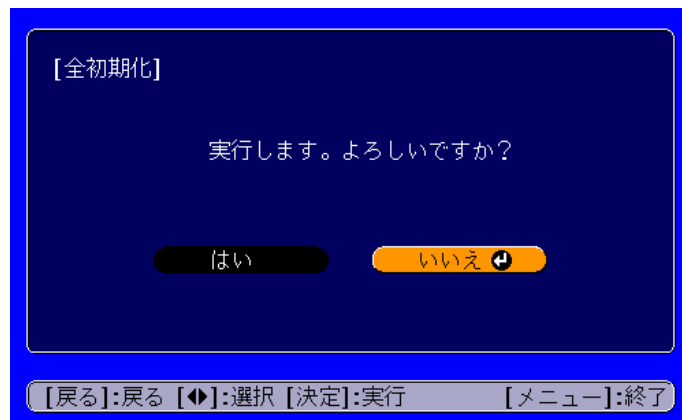
■ (オレンジ色) : 今回選択した項目

[←] ボタンを押して確定します。

👉 ⌚ がついている項目を選択し [決定] ボタンを押すと以下のいずれかの動作をします。

- ・選択項目を実行します。
- ・下の階層の項目を表示します。

- (c) [◀] または [▶] を押して選択します。
[↵] ボタンを押して確定します。



- (d) [▲][▼][◀][▶] ボタンを押して位置を移動します。



7 他の項目についても同様に設定します。

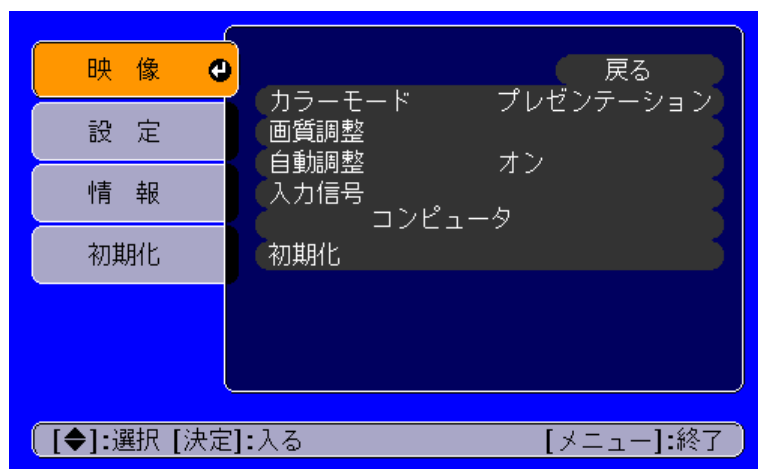
1つ前の階層に戻るには、[戻る] ボタンを押すか「戻る」を選択し [◀] を押します。

8 [メニュー] ボタンを押して終了します。

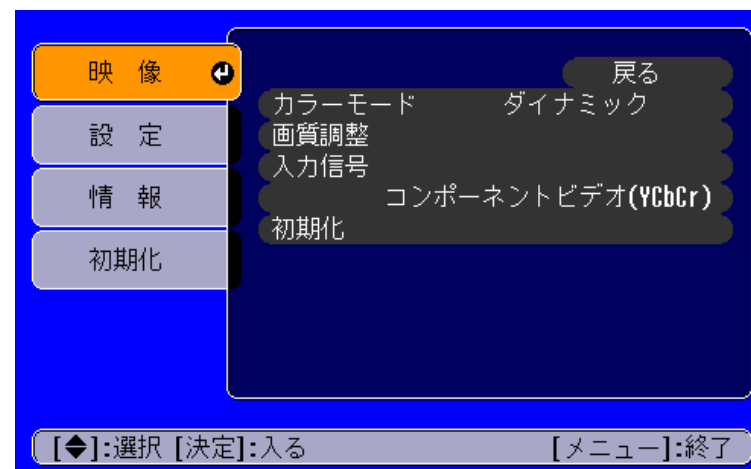
機能一覧

■ 映像メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは「自動調整」と「入力信号」のみ調整できます。
- 「映像」メニューは投写している入力信号によって項目が異なります。



コンピュータ映像



ビデオ映像

* 「入力信号」は映像ソースがコンポーネントビデオに選択されているときにのみ画面に表示されます。

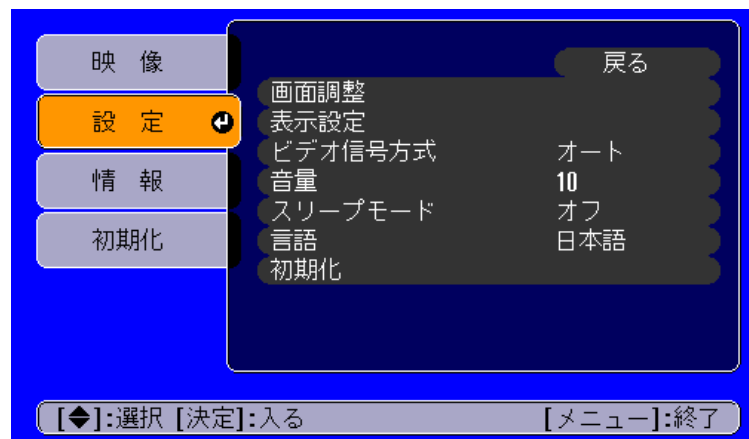


サブメニュー		機能	初期設定値
カラーモード		映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース（コンピュータ、ビデオ機器）ごとに設定を保存できます。 5 種類の画質から簡単にシーンに合った画質の設定を選択できます。 ・ ダイナミック： 明るさを重視した、鮮やかでメリハリを付けた映像にします。 ・ プレゼンテーション： 明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・ シアター： 自然な色合いで映画に最適です。 ・ リビング： 明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。 ・ sRGB▶： sRGB 規格に準拠した映像にします。接続している機器に sRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方を sRGB に設定して使用します。	コンピュータ映像入力時： プレゼンテーション その他の入力時： ダイナミック
画質調整	明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
	コントラスト ▶	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)
	トラッキング ▶ (コンピュータ映像のみ)	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	—



サブメニュー	機能	初期設定値
画質調整 (コンピュータ映像のみ)	同期 ▶ 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ちらつき、ぼやけは、明るさや コントラスト ▶、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	中心値 (0)
	色温度 ▶ 白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。 色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。 色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。 [←] ボタンを押して表示されるカラー調整メニューで設定します。	中
	色の濃さ (ビデオ映像のみ)	中心値 (0)
	色合い (ビデオ映像のみ)	中心値 (0)
自動調整 (コンピュータ映像のみ)	オン：入力ソースがコンピュータのとき、映像を自動的に最適な状態に調整します。 オフ：自動調整を行いません。	オン
入力信号 (コンピュータ / コンポーネントビデオ映像のみ)	コンピュータ / コンポーネントビデオ端子に接続した機器の映像信号を選択します。 ・コンピュータ：コンピュータ映像 ・コンポーネントビデオ (YCbCr)：DVD 映像 ・コンポーネントビデオ (YPbPr)：ハイビジョン映像	-
初期化	「映像」メニューのうち、「入力信号」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・[←] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 🔵 「初期化メニュー」 P. 39	-

■ 設定メニュー

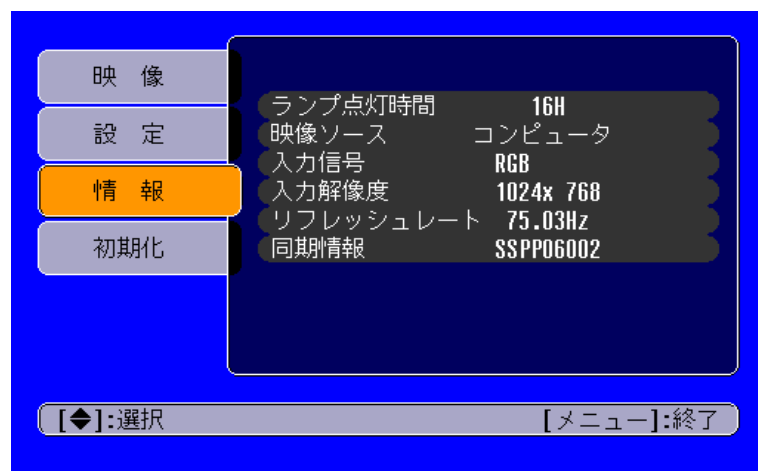


サブメニュー		機能	初期設定値
画面調整	台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。 ・台形補正をすると画面の大きさが変わります。 ・台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。	中心値 (0)
	表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・[◀] ボタンを押して表示位置調整画面を表示し、映像の表示位置を調整します。	—
	設置モード	・フロント 映像はそのまま投写されます。左右反転や上下反転にはなりません。 ・フロント / 天吊り 上下が逆さまに投写されます。 ・リア 左右が逆さまに投写されます。 ・リア / 天吊り 上下、左右ともに逆さまに投写されます。	フロント

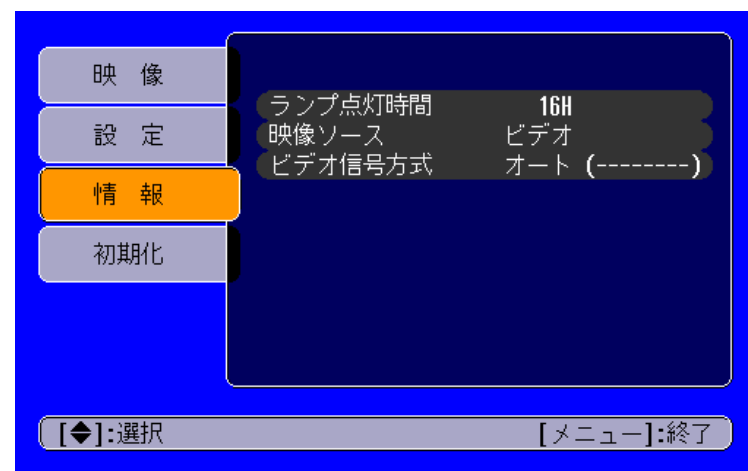


サブメニュー		機能	初期設定値
表示設定	メッセージ表示	オフに設定すると、「映像信号が入力されていません」などのメッセージや入力ソース選択時のソース名、カラーモードなどは表示されなくなります。 「投写ランプを交換して下さい」などの警告メッセージはオフのときも表示されます。	オン
	背景色	背景色を黒か青に設定します。	青
	スタートアップスクリーン	プロジェクター起動時に表示される「EPSON」の表示・非表示を設定します。	オン
ビデオ信号方式		ビデオの信号方式を設定します。 (映像ソースがビデオ / S-ビデオのときにのみ設定した信号方式で投写されます。)	オート
音量		音量を調整します。	中心値 (10)
スリープモード		信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 ・スリープモードの時間を設定した場合、映像信号が入らない状態で設定した時間 (5 分、10 分、30 分) 操作しないと自動的に投写を終了し、クールダウン後、スリープモード (スタンバイ状態) になります。(電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。) ・本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押すと投写を再開します。	オフ
言語		画面に表示するメッセージやメニューの言語を設定します。 ・[↩] ボタンを押して言語の一覧を表示し、言語を選択します。	-
初期化		「設定」メニューのうち、「言語」を除くすべての設定値を初期値に戻します。 ・[↩] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。	-

■ 情報メニュー



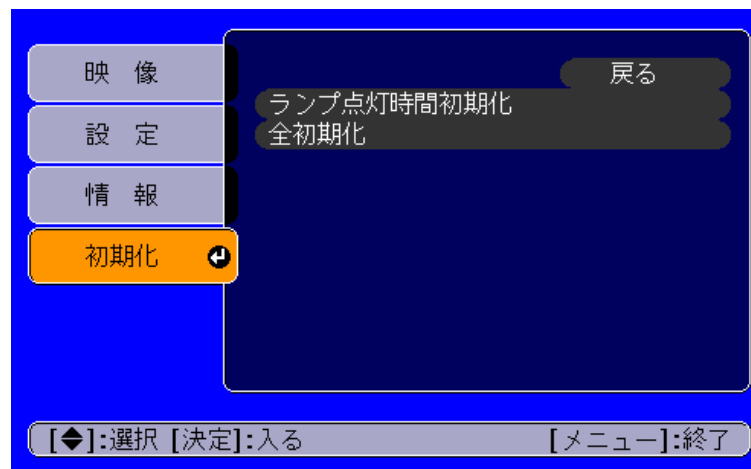
コンピュータ映像



ビデオ映像

サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。0 ～ 10 時間までは 0H と表示されます。10 時間以上は 1 時間単位で表示されます。 ・ランプの累積使用時間が約 1900 時間に達すると、文字が警告色（赤）で表示されます。	0H
映像ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	—
入力信号 (コンピュータ映像のみ)	入力信号の設定を表示します。	—
ビデオ信号方式 (ビデオ映像のみ)	ビデオの信号方式を表示します。	—
入力解像度 (コンピュータ映像のみ)	入力解像度を表示します。 (映像ソースがビデオ、S- ビデオの場合は表示されません)	—
リフレッシュレート ▶ (コンピュータ映像のみ)	リフレッシュレートを表示します。 (映像ソースがビデオ、S- ビデオの場合は表示されません)	—
同期情報 (コンピュータ映像のみ)	映像信号の情報を表示します。 エプソンインフォメーションセンターに問い合わせをしたときに、この表示内容が必要になる場合があります。	—

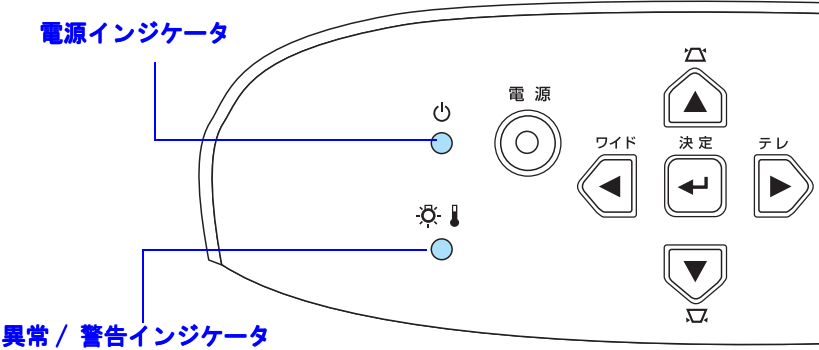
■ 初期化メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行するとランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	—
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ・[←] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 ・「入力信号」「言語」「ランプ点灯時間」は初期値に戻りません。	—

故障かなと思ったら

まず本体のインジケータをご覧ください。
本機には、次の 2 種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



電源インジケータ

- 点灯 ☀ 点滅 ・ 消灯の場合は電源が入っていません。

状態	原因 / 処置	
オレンジ ●	スタンバイ状態 (異常ではありません) この場合に限る、電源ケーブルを抜くことができます。 [電源] ボタンを押すと投写を開始します。	P. 20
オレンジ ☀	クールダウン▶ 中 (異常ではありません) ・そのまましばらくお待ちください。 クールダウンの時間は約 20 秒間です。 ・クールダウン中は [電源] ボタンを押しても無効となります。クールダウン終了後、もう一度操作してください。	P. 21
緑色 ●	投写中 (異常ではありません)	P. 20
緑色 ☀	ウォームアップ中 (異常ではありません) そのまましばらくお待ちください。 ウォームアップの時間は約 40 秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。	P. 20

(異常 / 警告) インジケータ

- 点灯  点滅
- ・ 消灯の場合は正常です。

状態	原因 / 処置	
赤色 	内部高温異常（オーバーヒート） ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。冷えるまで（約 5 分間）は、そのままの状態待ちます。その後、電源プラグを抜いて、次の 2 点を確認して改善します。 ・ エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ・ エアーフィルタが汚れている場合は、掃除をしてください。 電源プラグを差し直すと、状態が復帰します。本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れ直します。	P. 10 P. 51
赤色  （ 0.5 秒間隔 ）	ランプ異常 ・ 電源プラグをコンセントから抜いてランプを取り出します。ランプが割れていないか確認し、割れていなければ再セットします。その後、電源プラグを差し、本体またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れます。 ・ ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにランプ交換を依頼してください。（交換しないと映像を投写することはできません。） ・ ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、ランプが点灯しません。	P. 53
赤色  （ 1 秒間隔 ）	内部異常 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。	
オレンジ色 	高速冷却中 （異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止させます。） エアーフィルタ・排気口をふさがないように、通気性のよい場所に設置してください。 エアーフィルタの掃除をしてください。	P. 10 P. 51

-  ・インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。
- ・各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- ・上記の処置を行っても直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。

インジケータを見てもわからないとき

- ・ 映像が映らない（何も写らない）  P. 42
- ・ 映像が映らない（メッセージが出る 1）  P. 43
- ・ 映像が映らない（メッセージが出る 2）  P. 43
- ・ 映像がぼやける（鮮明ではない）  P. 44
- ・ 映像に縦の縞模様が入る  P. 45
- ・ 映像が乱れる / ノイズが出る  P. 45
- ・ 映像が切れる（大きい / 小さい）  P. 46
- ・ 映像の色が悪い / 緑色がかかる / 赤紫色がかかる  P. 47
- ・ 映像が暗い  P. 48
- ・ 音が出ない  P. 48
- ・ リモコンで操作できない  P. 49
- ・ 終了しない（〔電源〕ボタンを押した後に）  P. 49

■ 映像が映らない（何も写らない）

	・ 電源を OFF にした後で、すぐ ON にしましたか？	投写終了直後（ クールダウン ▶ 中）は、〔電源〕ボタンの操作はできません。
	・ スリープモードの時間（5 分、10 分、30 分）を設定していませんか？	スリープモードの時間を設定した場合、映像信号が入らない状態で設定した時間（5 分、10 分、30 分）操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。（〔メニュー〕ボタン → 「設定」 → 「スリープモード」）  「設定メニュー」 P. 36
	・ 映像の明るさは正しく調整されていますか？（〔メニュー〕ボタン → 「映像」 → 「画質調整」 → 「明るさ」）	 「映像メニュー」 P. 33
	・ 入力映像そのものが真黒になっていませんか？	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になることがあります。
	・ ミュートの状態になっていませんか？	 「ミュート機能」 P. 27
	・ 〔電源〕ボタンを押しましたか？	 「基本操作編」 P. 20
	・ 全初期化してみてください。	 「初期化メニュー」 P. 39
	・ 映像信号が入力されていますか？	映像信号が入力されているか確認してください。映像信号に関するメッセージを表示させるには、環境設定メニューの「設定」 → 「表示設定」 → 「メッセージ表示」でオンに設定してください。  「設定メニュー」 P. 36

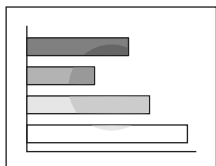
■ 映像が映らない（メッセージが出る 1）

 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」	・ コンピュータから出力されている映像信号の周波数が本機に対応するか確認してください。	コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。👉「対応解像度一覧」P. 62
--	---	---

■ 映像が映らない（メッセージが出る 2）

 「映像信号が入力されていません。」	・ コンピュータの映像を外部出力する設定にしていますか？	ノートタイプや液晶一体型のコンピュータは映像を外部出力する設定にしてください。👉「ノートパソコンを接続する」P. 12
	・ 接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	本体操作パネルの［入力切替］ボタンを押し、映像を切り替えてください。リモコンの場合は、［コンピュータ］ボタンまたは［S-ビデオ／ビデオ］ボタンを押して切り替えてください。👉「入力ソースの選択」P. 25
	・ ケーブル類が正しく接続されていますか？	👉「コンピュータとの接続」P. 12 , 「ビデオ機器との接続」P. 18
	・ 接続されたコンピュータまたビデオ機器の電源は入っていますか？	👉「電源の入れ方」P. 20

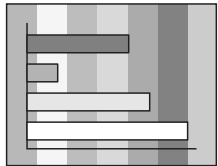
■ 映像がぼやける（鮮明ではない）



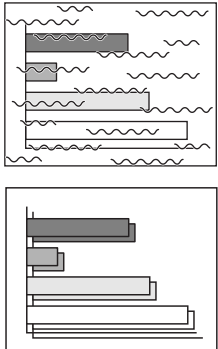
- ・映像がぼやける
- ・映像の一部しかピントが合わない
- ・ピントがまったく合わない

・「同期」「トラッキング」「表示位置」は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「映像」→「自動調整」をオフに設定している場合は、リモコンの〔自動調整〕ボタンを押して調整します。自動セットアップや〔自動調整〕ボタンで調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューで個別に調整することもできます。（〔メニュー〕ボタン → 「映像」→「画質調整」→「トラッキング」、「映像」→「画質調整」→「同期」、「設定」→「画面調整」→「表示位置」）👉「映像メニュー」P. 33、「設定メニュー」P. 36
・映像の信号形式の設定は合っていますか？	・コンピュータやコンポーネントビデオを接続している場合、環境設定メニューの「映像」→「コンピュータ」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。👉「映像メニュー」P. 33 ・コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合、環境設定メニューの「設定」→「ビデオ信号方式」で適切なビデオ信号方式を選択してください。👉「設定メニュー」P. 36
・投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？	👉「設置方法」P. 10
・投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は 87cm ～ 1109cm です。この範囲で設置してください。👉「設置方法」P. 10
・フット調整で投写角度が大きくなっていますか？	投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくくなる場合があります。👉「投写角度の調整」P. 23
・レンズが汚れていませんか？	👉「レンズの掃除」P. 50
・レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる 1 時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。
・ピントは正しく調整されていますか？	👉「画面の調整」P. 22
・レンズカバーが付いたままではありませんか？	👉「電源の入れ方」P. 20

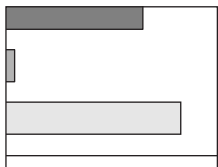
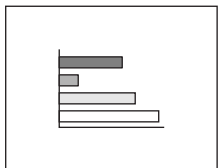
■ 映像に縦の縞模様が入る

	・「トラッキング」の調整は行いましたか？	映像の縦の縞模様が消えるようにトラッキングの値を設定します。 （[メニュー] ボタン 「映像」 → 「画質調整」 → 「トラッキング」）👉「映像メニュー」 P. 33
---	--	--

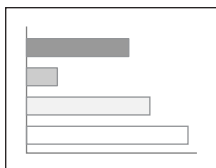
■ 映像が乱れる / ノイズが出る

	・「同期」「トラッキング」「表示位置」は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「映像」 → 「自動調整」をオフに設定している場合は、リモコンの[自動調整]ボタンを押して調整します。自動セットアップや[自動調整]ボタンで調整を行っても調整きれない場合は、環境設定メニューで個別に調整することもできます。（[メニュー] ボタン → 「映像」 → 「画質調整」 → 「トラッキング」、「映像」 → 「画質調整」 → 「同期」、「設定」 → 「画面調整」 → 「表示位置」）👉「映像メニュー」 P. 33, 「設定メニュー」 P. 36
	・映像の信号形式の設定は合っていますか？	・コンピュータやコンポーネントビデオを接続している場合、環境設定メニューの「映像」 → 「入力信号」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。👉「映像メニュー」 P. 33 ・コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合、環境設定メニューの「設定」 → 「ビデオ信号方式」で適切なビデオ信号方式を選択してください。👉「設定メニュー」 P. 36
	・解像度の選択は正しいですか？	本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。👉「対応解像度一覧」 P. 62
	・ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用して確認してください。
	・ケーブルは正しく接続されていますか？	👉「コンピュータとの接続」 P. 12, 「ビデオ機器との接続」 P. 18

■ 映像が切れる（大きい / 小さい）

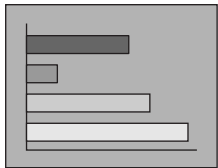
 	・ ノートタイプや液晶一体型のコンピュータの解像度を変更してください。	画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。👉「入力ソースの選択」P. 25
	・ 「アスペクト比」が正しく選択されていない可能性があります。	リモコンの〔画面サイズ〕ボタンで4:3に設定してください。 👉「ワイドサイズの映像を映す（アスペクト比の切り替え）」P. 28
	・ デュアルディスプレイの設定をしていますか？	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。詳しくは、お使いのコンピュータに組み込んでいるビデオドライバのマニュアルをご覧ください。
	・ 解像度の選択は正しいですか？	本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。👉「対応解像度一覧」P. 62
	・ 「表示位置」は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「設定」→「画面調整」→「表示位置」で調整してください。👉「設定メニュー」P. 36
	・ Eズーム機能で拡大されたままになっていませんか？	リモコンの〔戻る〕ボタンを押すとEズーム機能が解除されます。👉「Eズーム機能」P. 28

■ 映像の色が悪い / 緑色がかかる / 赤紫色がかかる



・ 入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	コンポーネントビデオ機器を接続しているのに、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンピュータ」に設定していると映像が緑色がかって表示されます。コンピュータを接続しているのに、環境設定メニューの「映像」→「入力信号」で「コンポーネントビデオ (YCbCr▶)」や「コンポーネントビデオ (YPbPr▶)」に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。([メニュー] ボタン → 「映像」→ 「入力信号」) 👉 「映像メニュー」 P. 33
・ ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 👉 「ランプの交換時期」 P. 53
・ コントラストは正しく調整されていますか？ ([メニュー] ボタン → 「映像」→ 「画質調整」→ 「コントラスト」)	👉 「映像メニュー」 P. 33
・ 適切なカラー調整に設定されていますか？ ([メニュー] ボタン → 「映像」→ 「画質調整」→ 「色温度」)	👉 「映像メニュー」 P. 33
・ 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ([メニュー] ボタン → 「映像」→ 「画質調整」→ 「色の濃さ」「色合い」)	👉 「映像メニュー」 P. 33
・ 映像の明るさは正しく調整されていますか？ ([メニュー] ボタン → 「映像」→ 「画質調整」→ 「明るさ」)	👉 「映像メニュー」 P. 33
・ ケーブル類が正しく接続されていますか？	👉 「コンピュータとの接続」 P. 12, 「ビデオ機器との接続」 P. 18
・ コンピュータと接続している場合	コンピュータのモニターや液晶画面への表示と映像の色合いは一致しない場合もありますが、異常ではありません。

■ 映像が暗い

	・ ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。👉「ランプの交換時期」 P. 53
	・ 映像の明るさは正しく調整されていますか？（[メニュー] ボタン → 「映像」 → 「画質調整」 → 「明るさ」）	👉「映像メニュー」 P. 33
	・ コントラストは正しく調整されていますか？（[メニュー] ボタン → 「映像」 → 「画質調整」 → 「コントラスト」）	👉「映像メニュー」 P. 33

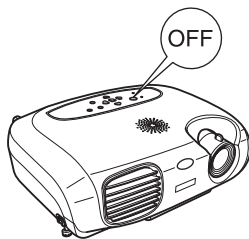
■ 音が出ない

	・ ミュートの状態になっていませんか？	ミュートモードになっていることが考えられます。リモコンの[ミュート] ボタンを押してミュートを解除してください。👉「ミュート機能」 P. 27
	・ 音量調整が最小になっていませんか？（[メニュー] ボタン → 「設定」 → 「音量」）	👉「設定メニュー」 P. 36
	・ 音声入力は正しく接続されていますか？	👉「コンピュータの音声を出す」 P. 14, 「ビデオの音声を出す」 P. 19

■ リモコンで操作できない

	・ リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	☞ 「リモコンの使い方」 P. 9
	・ プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は約 6m です。☞ 「操作範囲」 P. 9
	・ リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	操作可能範囲は、左右約 30° 、上下約 15° です。☞ 「操作範囲」 P. 9
	・ 電池の絶縁テープを引き抜いてありますか？	☞ 「お使いになる前に」 P. 9
	・ 電池が消耗していませんか？	☞ 「電池の交換方法（リモコン・プレゼンテーションリモコン共通）」 P. 52
	・ 電池が逆にセットされていませんか？	
	・ 電池は入っていますか？	

■ 終了しない（〔電源〕ボタンを押した後に）

	・ 電源インジケータがオレンジに点灯したままになっている。	本機は電源を切っても電源インジケータは消灯しない構造になっています。コンセントから電源プラグを抜くと、電源インジケータは消灯します。
	・ ファンが止まらない。	〔電源〕ボタンを押して電源を切った後、 クールダウン を行います。その後、電源インジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。クールダウンの時間は、約 20 秒です。

お手入れの方法

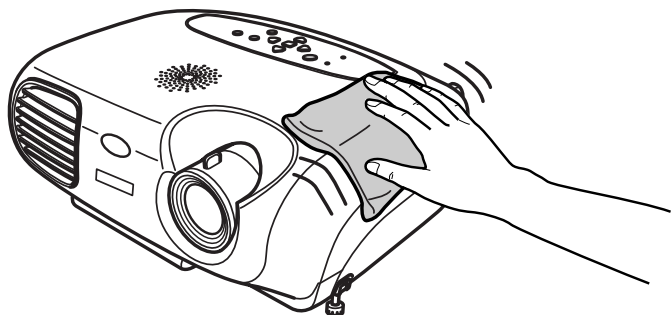
❗ 別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

■ 本体の掃除

柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。

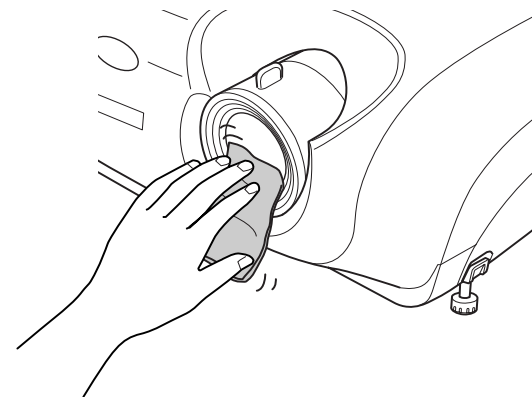


汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

❗ ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ レンズの掃除

市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで汚れを軽くふき取ってください。

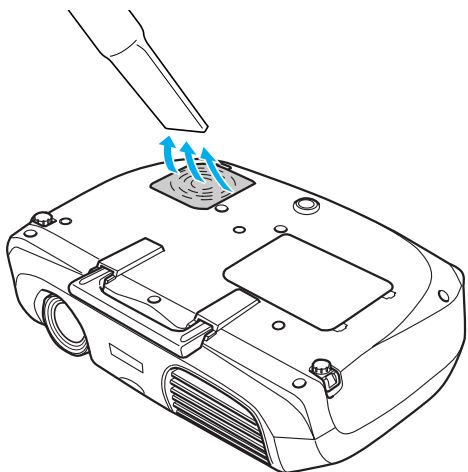


❗ レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

■ エアーフィルタの掃除

エアーフィルタにホコリがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

エアーフィルタのホコリは、本機を裏返して、掃除機で吸い取ってください。



- ・エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。
- ・交換用ランプには、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。

消耗品の交換

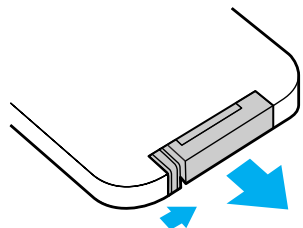
■ 電池の交換方法（リモコン・プレゼンテーションリモコン共通）

交換用電池： リチウム電池 CR2025 × 1 個

! 事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に置いてください。
万一、子供が電池を飲み込んだ場合は、すみやかに医師に相談してください。

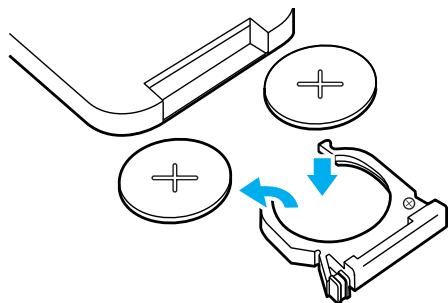
1 電池ホルダを外します。

電池ホルダのツメを内側へ押さえたまま引き出します。



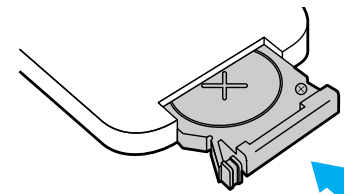
2 新しい電池に交換します。

(+) の向きを間違えないようにセットします。



3 電池ホルダを取り付けます。

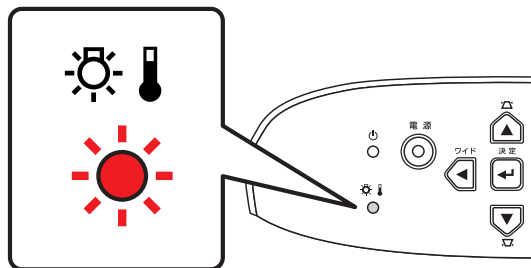
カチッと音がするまでホルダを押し込みます。



! 使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

■ ランプの交換時期

- ・投写を開始したときに、画面左下に「投写ランプを交換してください。」とメッセージが 30 秒間表示されたとき
- ・異常 / 警告インジケータが 0.5 秒間隔で赤色に点滅したとき



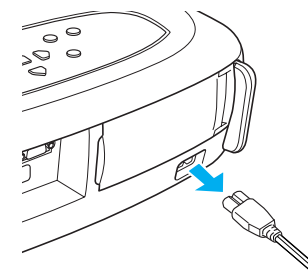
- ・交換メッセージは約 1900 時間で表示されます。
- ・メッセージが表示されたら、すみやかに交換してください。
- ・交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。
- ・使用条件などで、交換表示の前に点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- ・交換用ランプはお近くの販売店および、エプソン 0A サプライ株式会社フリーダイヤル (0120) 251-528 でお問い合わせください。

■ ランプの交換方法



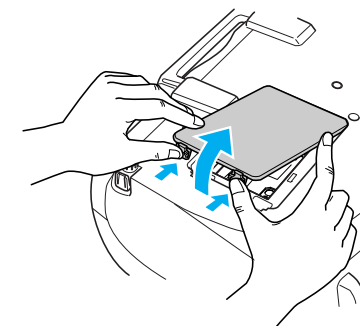
- ・ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。ランプが十分冷えるには、クールダウン後、約 1 時間必要です。
- ・ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにランプ交換を依頼してください。

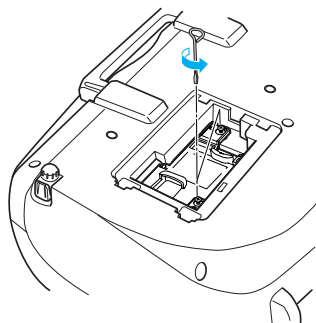
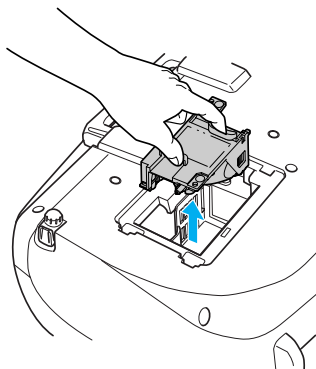
- 1 本機の電源を切り、**クールダウン** を待ちます。(約 20 秒)
電源ケーブルを外しランプが冷えるまで待ちます。(約 1 時間)



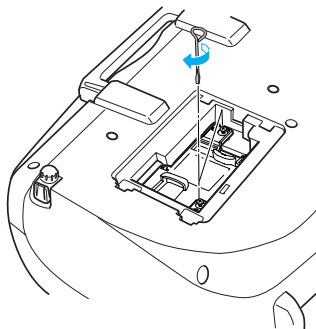
- 2 **ランプカバーを開きます。**

ランプカバーのつまみ部分のくぼみに指をかけて持ち上げ、カバーを開きます。

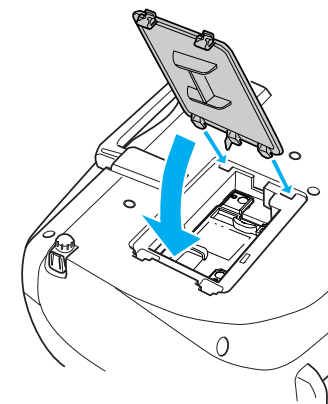


③ ランプ固定ネジをゆるめます。**④ 古いランプを取り外します。****⑤ 新しいランプを取り付けます。**

ランプを収納部の形に合う向きにしてカチッと音がするまで押し込み、ランプ固定ネジ2本を締めます。

**⑥ ランプカバーを取り付けます。**

ツメの部分を入れた後から反対側をカチッと音がするまで押し込みます。



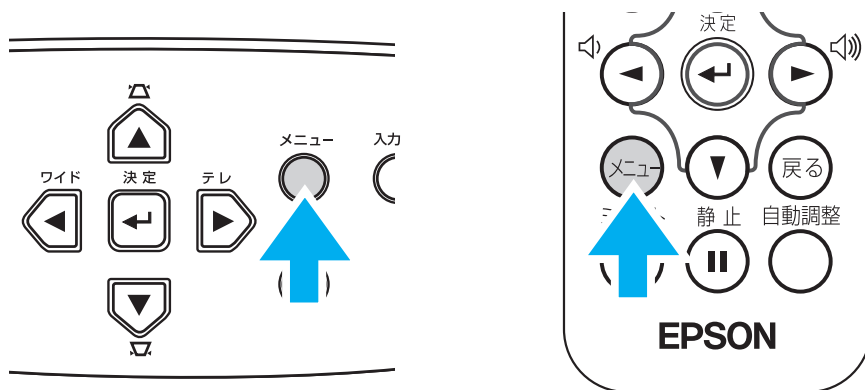
- ・ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- ・ランプ交換をしたあとは、ランプ点灯時間を初期化する必要があります。👉「[ランプ点灯時間の初期化](#)」P. 55
- ・交換用ランプに交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせてエアーフィルタも交換してください。👉「[ランプの交換時期](#)」P. 53
- ・ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

■ ランプ点灯時間の初期化

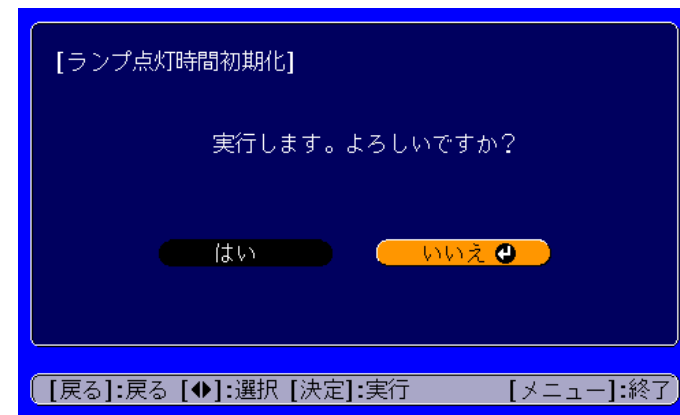
本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。

 ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外に行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

1 電源を入れ [メニュー] ボタンを押します。



3 [←][→] ボタンで「はい」を選び、[←] ボタンを押します。



ランプ点灯時間が初期化されます。

2 [▲][▼][←] ボタンで「初期化」「ランプ点灯時間初期化」を選びます。

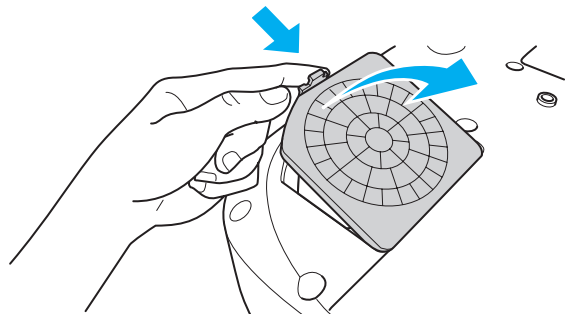
■ エアーフィルタの交換方法

本機を天吊り設置している状態でもエアークフィルタの交換ができます。

- 1** 本機の電源を切り、[クールダウン](#)が終了してから電源ケーブルを外します。

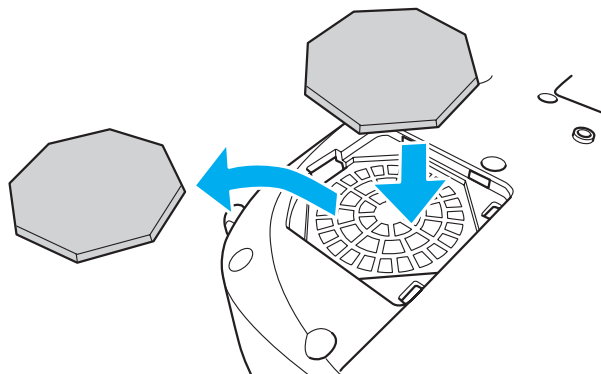
クールダウンの時間は約 20 秒間です。

- 2** エアークフィルタカバーのつまみ部分のくぼみに指をかけて持ち上げ、エアークフィルタカバーを外します。



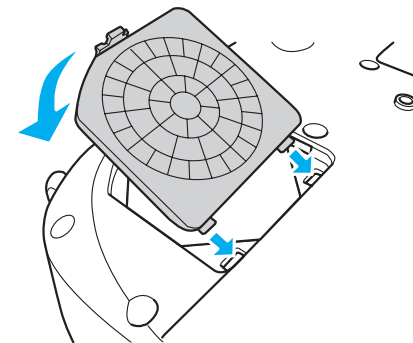
- 3** 新しいエアークフィルタに交換します。

古いエアークフィルタを取り出し、新しいエアークフィルタをセットします。吸気口に、エアークフィルタをずれがないように置いてください。



- 4** エアークフィルタカバーを取り付けます。

ツメの部分を入れたから反対側をカチッと音がするまで押し込みます。



使用済みのエアークフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は 2004 年 3 月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

品番	品名	用途
ELPLP29	交換用ランプ	使用済みランプと交換します。
ELPAF03	エアーフィルタ (5 枚入り)	使用済みエアーフィルタと交換します。
ELPSC06	携帯用スクリーン (50 型)	持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比 4:3)
ELPSC07	60 型スクリーン	携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比▶ 4:3)
ELPSC08	80 型スクリーン	
ELPSC10	100 型スクリーン	
ELPKC02	コンピュータケーブル (1.8m) (ミニ D-Sub 15 ピン / ミニ D-Sub 15 ピン)	製品同梱のコンピュータケーブルと同等品です。
ELPKC09	コンピュータケーブル (3m) (ミニ D-Sub 15 ピン / ミニ D-Sub 15 ピン)	製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。
ELPKC10	コンピュータケーブル (20m) (ミニ D-Sub 15 ピン / ミニ D-Sub 15 ピン)	
ELPKC11	コンピュータケーブル (1.8m) (ミニ D-Sub 15 ピン / 5BNC)	5BNC 端子のコンピュータと接続するときに使います。
ELPKC19	コンポーネントビデオケーブル (3m) (ミニ D-Sub 15 ピン / RCA×3、オス)	コンポーネントビデオを投写するときに使います。
ELPKC27	コンポーネントビデオケーブル (0.35m) (ミニ D-Sub 15 ピン / RCA×3、メス)	市販のコンポーネントビデオケーブル (RCA × 3、オス) と接続するときに使います。
ELPKC22	D 端子ケーブル (3m) (ミニ D-Sub15 ピン / D4 端子)	BS デジタル放送チューナと接続するときに使います。



品番	品名	用途
ELPMB11	天吊り金具 *	本機を天井に取り付けるときに使います。
ELPFC03	天井プレート *	高天井や化粧天井に取り付けるときに使います。
ELPFP04	パイプ 370 (370mm シルバー) *	
ELPFP05	パイプ 570 (570mm シルバー) *	
ELPFP06	パイプ 770 (770mm シルバー) *	
ELPDC04	マルチメディアビューワー	書籍や OHP 原稿、スライドを投写するときなどに使います。

* 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
HDTV	High-Definition Television の略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度 750p、1125i 以上 (p は プログレッシブ ▶ 走査、i は インタレース ▶ 走査) ・画面のアスペクト比は 16 : 9 ・ ドルビーデジタル ▶ 音声の受信、再生（あるいは出力）
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。Y（輝度信号）C（色信号）の 2 つの独立した信号からできている映像をいいます。
SDTV	Standard Definition Television の略で、HDTV の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム（OS）やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 機）の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 機）の信号で横 1,280 ドット×縦 1,024 ドットのものを呼びます。
UXGA	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 機）の信号で横 1,600 ドット×縦 1,200 ドットのものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 機）の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットのものを呼びます。

XGA	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 機）の信号で横 1,024 ドット×縦 768 ドットのものを呼びます。
YCbCr	現行のテレビ（NTSC 方式）で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y（輝度信号）CbCr（クロマ（色）信号）で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y（輝度信号）PbPr（色差信号）で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が 16 : 9 と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は 4 : 3 です。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかかった色合いになります。
インタレース	1 つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
クールダウン	投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。本体、またはリモコンの〔電源〕ボタンを押して電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。



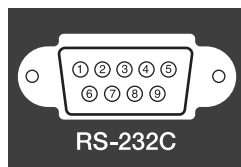
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。
スクイーズモード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。 本機のスクイーズモードを使って投写すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。
同期 (Sync.)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社 情報機器事業部 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367

トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア2chスピーカ、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リサイズ	表示本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュータからの映像も表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。

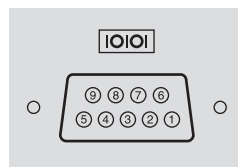
■ シリアル接続

- ・コネクタ形状 : D-sub 9pin(オス)
- ・プロジェクター入力端子名 : RS-232C

＜プロジェクター側＞



＜コンピュータ側＞



＜プロジェクター側＞（ PC シリアルケーブル ）＜コンピュータ側＞

GND	5	—————	5	GND
RD	2	←————	3	TD
TD	3	————→	2	RD
DTR	4	————→	6	DSR
DSR	6	←————	4	DTR

信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

■ コンピュータ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	解像度リサイズ (ドット)
VGA	60	640 × 480	800 × 600
VGAEGA		640 × 350	800 × 438
VESA	72 / 75 / 85, iMac*	640 × 480	800 × 600
SVGA	56 / 60 / 72 / 75 / 85, iMac*	800 × 600	800 × 600
XGA	43i / 60 / 70 / 75 / 85, iMac*	1024 × 768	800 × 600
MAC13 型		640 × 480	800 × 600
MAC16 型		832 × 624	800 × 600
MAC19 型		1024 × 768	800 × 600
MAC21 型		1152 × 870	794 × 600
SDTV (525i)	60	640 × 480	800 × 600
SDTV (525p)	60	640 × 480	800 × 600
HDTV (750p)	60	1280 × 720	800 × 450
HDTV (1125i)	60	1920 × 1080	800 × 450

*VGA 出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

■ コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュ レート (Hz)	解像度 (ドット)	
		アスペクト 比 4:3	アスペクト 比 16:9
SDTV (525i) (D1)	60	800 × 600	800 × 450
SDTV (625i)	50	800 × 600	800 × 450
SDTV (525p) (D2)	60	800 × 600	800 × 450
HDTV (750p) 16:9 (D4)	60	800 × 600	800 × 450
HDTV (1125i) 16:9 (D3)	60	800 × 600	800 × 450

■ コンポジットビデオ / S-ビデオ

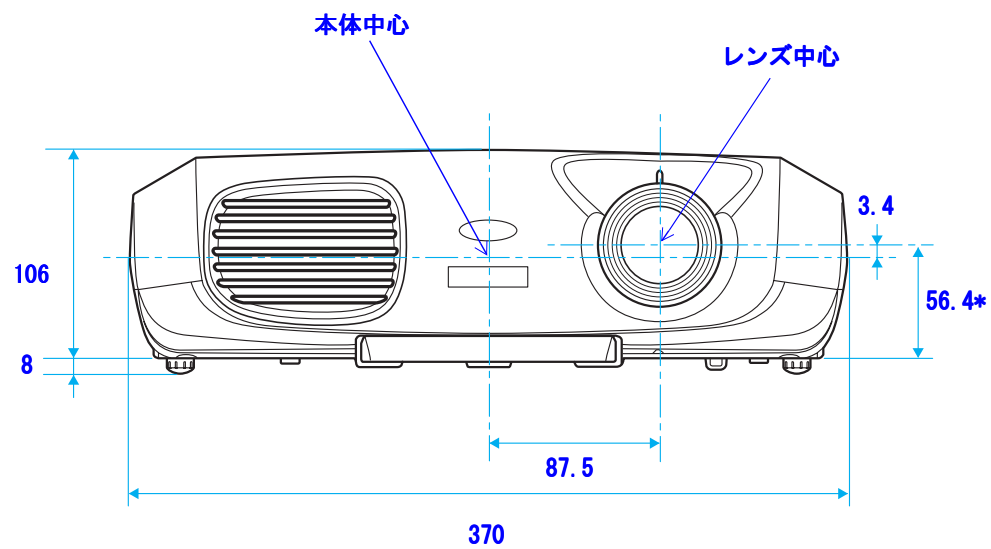
信号	リフレッシュ レート (Hz)	解像度 (ドット)	
		アスペクト 比 4:3	アスペクト 比 16:9
TV (NTSC)		800 × 600	800 × 450
TV (PAL, SECAM)		800 × 600	800 × 450

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写することができます。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

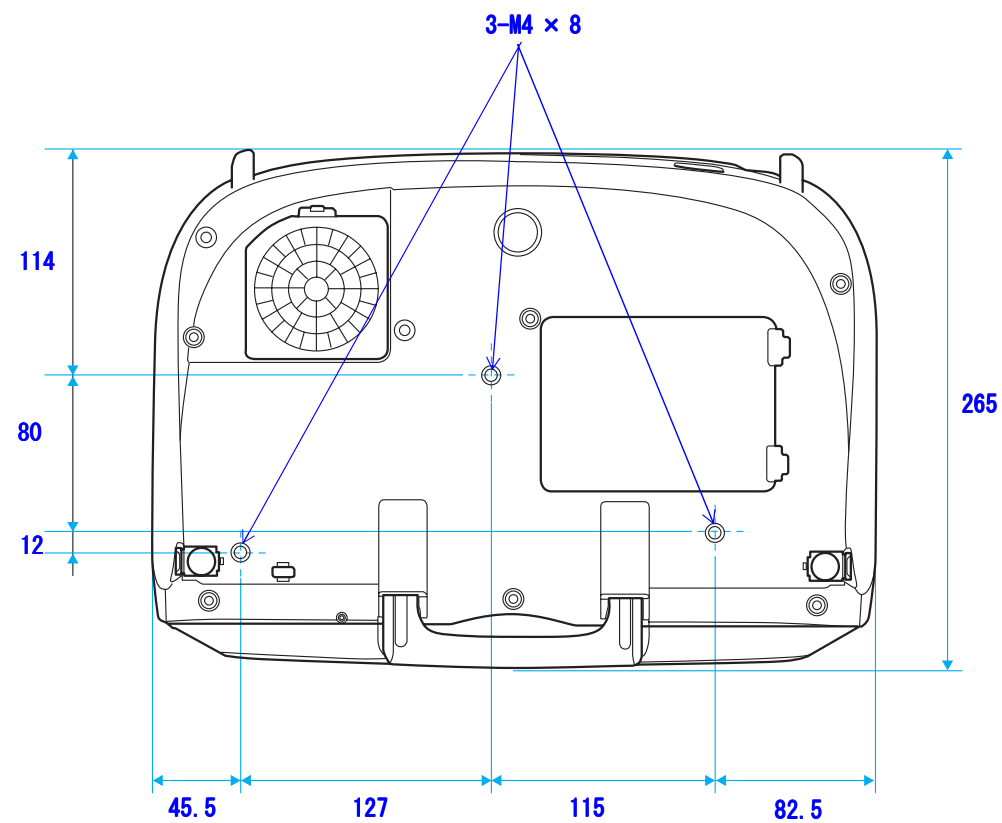
商品名	LCD Projector EMP-S1H			Safety
外形寸法	370(幅)×106(高さ)×265(奥行き)mm (フット含まず)			USA (100-120VAC)
パネルサイズ	0.5 型			UL1950 3 rd Edition
表示方式	ポリシリコン TFT アクティブマトリクス			Canada (100-120VAC)
画素数	SVGA▶▶ 480,000 個 (横 800 × 縦 600 ドット)×3			CSA C22.2 No.950-95 (cUL)
フォーカス調整	手動			European Community (200-240VAC)
ズーム調整	電子式 (約 1 : 1.2)			The Low Voltage Directive (73/23/EEC)
ランプ (光源)	UHE ランプ定格 130W 型番 : ELPLP29			IEC60950 2 nd Edition, +Amd.1, +Amd.2, +Amd.3, +Amd.4
音声最大出力	1W モノラル			EMC
スピーカ	1 個			USA (100-120VAC)
電源	100-240V ± 10%、50/60Hz AC 定格消費電力 200W スタンバイ時 5W (100V 時)			FCC 47CFR Part15B Class B (DoC)
使用温度範囲	+5 °C ~ +35 °C (結露しないこと)			Canada (100-120VAC)
保存温度範囲	-10 °C ~ +60 °C (結露しないこと)			ICES-003 Class B
質量	約 3.2kg			European Community (200-240VAC)
接続端子	モニタ出力端子	1	1 系統ミニ D-Sub 15pin (メス) 黒色	The EMC Directive (89/336/EEC)
	コンピュータ / コンポーネントビデオ端子	1	1 系統ミニ D-Sub 15pin (メス) 青色	EN55022, 1998 Class B
	S-ビデオ端子	1	1 系統ミニ DIN 4pin	EN55024, 1998
	ビデオ端子	1	1 系統 RCA ピンジャック	IEC61000-4-2, IEC61000-4-3, IEC61000-4-4, IEC61000-4-5, IEC61000-4-6, IEC61000-4-8, IEC61000-4-11, IEC61000-3-2, IEC61000-3-3
	音声入力端子	1	RCA ピンジャック ×2 (L, R)	Australia/New Zealand (200-240VAC)
	RS-232C 端子	1	1 系統 D-Sub 9pin (オス)	AS/NZS 3548:1995, A1:1997, A2:1997, Class B
				CISPR Pub.22:1993, A1:1995, A2:1996, Class B



本機には Pixelworks DNX™ の IC が搭載されています。



* レンズ中心から天吊固定部までの寸法



数字・アルファベット

13w3 端子	13
5BNC 端子	13
AV ケーブル	18
E ズーム	28
HDTV	59
RS-232C 端子	6
sRGB	26, 34
S- ビデオ	18, 25
S- ビデオ端子	6
YCbCr	35
YPbPr	35

ア

明るさ	34
アスペクト比	8, 28
色合い	35
色温度	35
色の濃さ	35
インジケータ	5, 40, 42
エアークフィルタ	7
エアークフィルタの交換方法	56
エアークフィルタの掃除	51
映像ソース	38
映像メニュー	33
オーバーヒート	41
オプション品	57
音声入力端子	6
音量	37

カ

各部の名称と働き	4
画質調整	34
画面調整	36
カラーモード	34
環境設定メニュー	29
吸気口	7

クールダウン	21, 40
警告インジケータ	5
言語	37
故障かなと思ったら	40
コントラスト	34
コンピュータ / コンポーネントビデオ端子	6
コンピュータケーブル	13
コンピュータとの接続	12
コンポーネントビデオ	18
コンポジットビデオ	18

サ

サブメニュー	31
自動セットアップ	26
自動調整	35
シャープネス	34
ジョイスティック	17
仕様一覧	63
使用温度範囲	63
情報メニュー	38
初期化メニュー	39
スクリーンサイズ	10
スタートアップスクリーン	37
スピーカ	4, 14
スリープモード	37
静止機能	27
設置モード	36
設定メニュー	36
全初期化	39
操作範囲	
（プレゼンテーションリモコン）	17
（リモコン）	9

タ

ターゲットスコープ	28
対応解像度一覧	62
台形補正	24, 36
端子	6

電源インジケータ	5
電源ケーブル	20
電源端子	6
電源の入れ方	20
電源の切り方	21
電池の交換方法	52
電池ホルダ	52
天吊り	11, 36
天吊固定部	7
同期 (Sync.)	26, 35
同期情報	38
投写角度	23
投写距離	10
盗難防止ロック	6
トップメニュー	30
トラッキング	34

ナ

入力信号	35, 38
------	--------

ハ

排気口	4
背景色	37
半透過性のスクリーン	11
ハンドル	4, 7
ビデオ	38
ビデオ機器との接続	18
ビデオ信号方式	37, 38
ビデオ端子	6
表示位置	36
表示設定	37
フォーカス	22
フォーカスリング	4, 22
フットボタン	4
プレゼンテーションリモコン	15
フロントフット	4
保存温度範囲	63
本機の設置	10

本体操作パネル	4, 5
本体の掃除	50

マ

マウスポインタ	15
ミニ D-Sub 15 pin	13
ミュート機能	27
メッセージ表示	37
モニタ出力端子	6

ヤ

用語解説	59
------	----

ラ

ランプカバー	7
ランプ点灯時間	38
ランプ点灯時間初期化	39
ランプの交換時期	53
ランプの交換方法	53
リサイズ	60
リモコン	8
リモコン受光部	4, 6
リモコン発光部	
（プレゼンテーションリモコン）	17
（リモコン）	8
リモコンホルダ	6
レンズカバー	4
レンズの掃除	50

ワ

ワークステーション	13
ワイドサイズの映像を映す	28

DECLARATION of CONFORMITY

According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We :EPSON AMERICA, INC.
Located at :3840 Kilroy Airport Way
MS: 3-13
Long Beach, CA 90806
Tel :562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name :EPSON
Type of Product :Projector
Model :EMP-S1H

**FCC Compliance Statement
For United States Users**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地ににてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/Vは、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer Inc. の登録商標です。

Windowsは米国マイクロソフト社の商標です。

Pixelworks、DNXはPixelworks社の商標です。

EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひ活用ください。

FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570—004141 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様の希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **0570—090—090** (全国ナビダイヤル) 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く) ※松本修理センターは365日受付可。

*平日の17:30～20:00および、土日・祝日・弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諏訪支店で代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570—004110 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。 <http://www.i-love-epson.co.jp/square/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! <http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社(ホームページアドレス <http://www.epson-supply.co.jp/> またはフリーダイヤル0120—251528)でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5